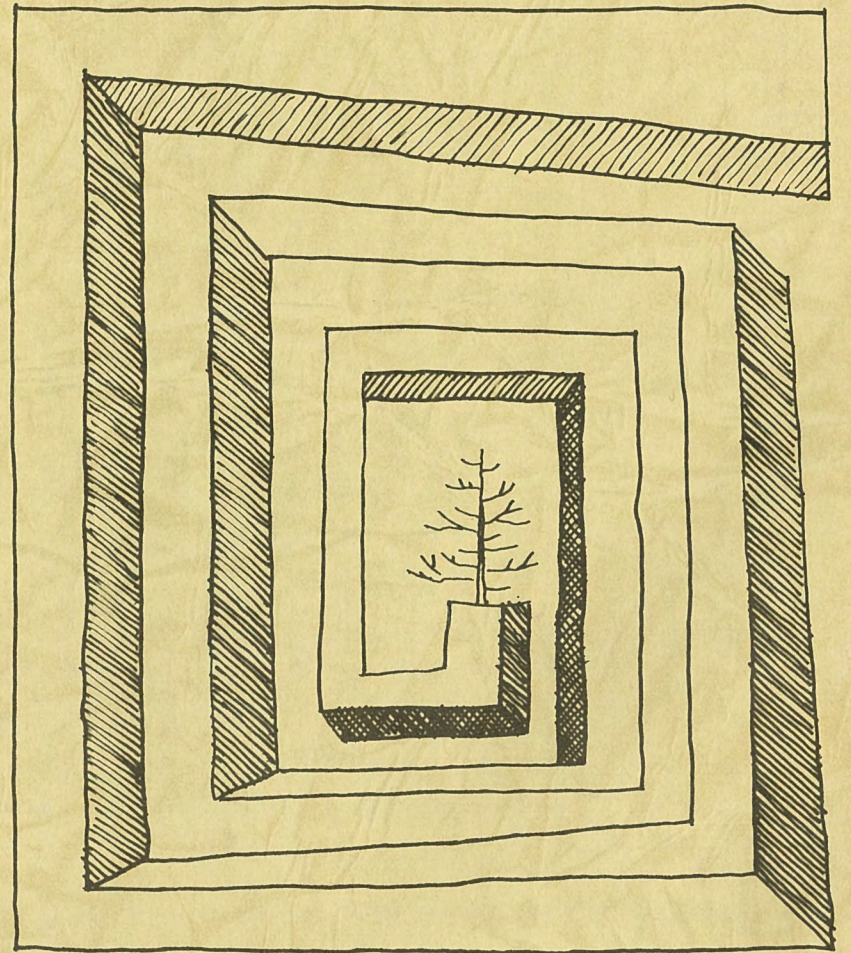


57年度版  
生徒会誌

# しらこぼと



埼玉県立越谷北高等学校  
生徒会



# しらばと 第5号

○男子優勝  
○生徒感想  
修学旅行  
○さ☆修学  
《部 活》  
○運動部・同好会  
○文化部・同好会



埼玉県立越谷北高等学校生徒会

体 育 祭

- 体育祭で身につまされて……実行委員長…菅 隆之…… 22
- 生徒感想。プログラム……………23

競 歩 大 会

- 男子優勝者。女子優勝者…………… 26
- 生徒感想。コース図。結果一覧…………… 28

修 学 旅 行

- ざ☆修学旅行（日程表。生徒感想）…………… 31

《部 活 動》

- 運動部・同好会…………… 37
- 文化部・同好会…………… 46

《生徒会・委員会》

- 生徒会役員一覧表。活動経過…………… 58
- 生徒会本部。各委員会…………… 59
- （ポエムロード）…………… 71

《特集・あなたが餓死しないために》

- 将来の職業…………… 72



《あいさつ》

- 「しらこぼと」第5号発刊に寄せて…… 学校長… 影山 増夫…… 4
- 負け惜しみのつぶやき…………… 前生徒会長…… 小池 明…… 6
- 見つめ直して…………… 生徒会長…… 大和田 稔…… 7

《学校行事》

しらこぼと祭

- しらこぼと祭…………… 実行委員長…… 小林 喜典…… 10
- テーマ曲「夏風に揺られて…」, 歌の祭典…………… 12
- ミス&ミスターしらこぼと…………… 15
- 生徒感想。しらこぼと祭アンケート…………… 17
- 第12回しらこぼと祭をふり返って…………… 21

## 「しらこぼと」第五号発刊に寄せて

学校長 影山増夫

創立十周年を記念して創刊された生徒会誌「しらこぼと」もここに第五号の発行をみる運びになりました。

会誌の中に流れるもの……それは諸君の先輩の所産である過去の歴史と伝統を基盤として現在の生徒諸君の青春の記録であり同時に高校生活の想い出のページである。更には今後永遠につづく本校発展の歴史の中の輝かしい一駒であることを期待して止まない。

想えば時の流れも早いもので「しらこぼと」と共に歩んできた私も本校在職五年目となり、教職卒業のゴールも目前に迫ってきている。こうした中でペンに托してこの一年間——私にとっては校長最後の年であるが——の学園生活を回顧することはまことに感慨深いことである。

着任した五十三年の春、まだ比較的歴史の浅い本校で未完の魅力に惹かれ可能性への挑戦を胸に秘め常に「文武両道」を教育のモットーとして一步一步前進を目指して学校運営にとりくみ今日にいたりました。

本年は生徒諸君や保護者の皆さんの最大の関心である大学進学も前年に比して竿頭一步を進めた年であり、特

に本校においては国公立離れどころではない。年ごとに共通一次への挑戦者も増して合格者もまた増加の一途をたどっている。更に公立私立を問わずいわゆる難関といわれる社会的評価の高い大学へも現役で合格できる実力を身につけてきたことは喜ばしい限りであります。入試シーズンの正念場を迎えた今日、三年生諸君には更に一層の飛躍を期待いたします。

次に体力の増進と技術の向上をめざした友情をはぐくむ部活動においても運動部・文化部ともかなりの好成績をあげて躍動する若人の青春を力強く感じさせてくれた。中でも女子テニス部は県大会で初優勝をなし遂げ全国大会に出場して健闘し、また男子バレーボール部は準決勝まで進出して関東大会で県代表として活躍し、更にサッカー部は県大会で三たび連続して準々決勝まで駒を進めながら奇しくも宿敵の強剛浦和南と対戦して惜敗している。

可能性への挑戦は今後更に成果を高めてくれるものと確信し、生徒諸君の活躍と本校のますますの発展を念願してペンを擱く。

栄光あれ越谷北高

(五八・一・二二記)



## 負け惜しみのつぶやき

前生徒会長 小池 明

僕が生徒会長をつとめていて、最高に悔しかったのは、第12回しらこぼと祭が、台風のせいもあるが、失敗に終わってしまったことだ。不成功とは「今度は成功するぞ。」という意味がこもっているが、第12回しらこぼと祭はやり直しがきかない。だから不成功ではなく、失敗なのだと思ふ。

では何故失敗に終わったのだろうか。まず第一に台風十八号。このおかげで、しらこぼと祭は打ち切りになるし、後夜祭もとりやめになってしまったのである。しかし、これはどうにもならないことなのだ。失敗の理由の一つに、生徒のしらこぼと祭に対する取り組みの姿勢である。これはどうにもならないというはずはない。北高生は生徒全員、一人残らず生徒会の会員なのだから、生徒会行事での義務を果たすべきだ。全校生徒約千四百人が、確実にそれぞれの役割を果たしたならば、しらこぼと祭は大成功を収めるであろう。

今年が生徒会長が実行委員長を兼任しなかったが、これは私がしらこぼと祭の為に生徒会長になった訳ではない、という事を皆に示したかったせいでもある。しらこぼと祭の為に、他の生徒会の行事をないがしろにするのは、政治をほったらかして会合と称しては料亭に集まっている政府高官の様で嫌だったのだ。又、生徒会本部から、一般の学芸委員にイニシアチブを返す必要も感じていた為である。

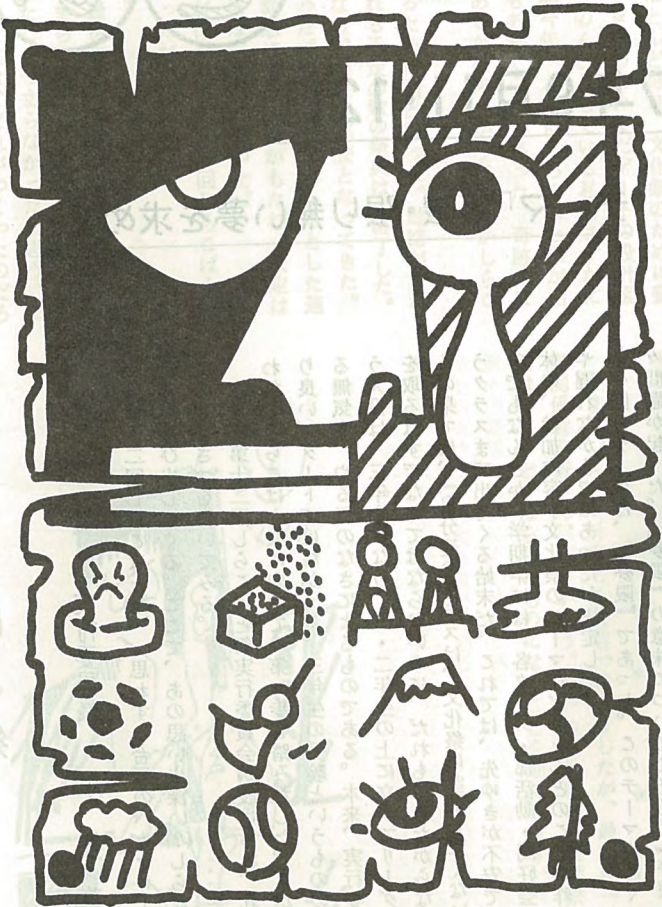
いろいろしらこぼと祭の事ばかり書いてきたが、しらこぼと祭は、越谷北高のカラーの出せる重要な行事だと思う。しかしまだしらこぼと祭に、北高カラー、北高らしさというものが表れていないように思う。北高生が、「しらこぼと祭はここが北高らしいのです。」と言えるよう、生徒会会員であるという自覚を胸に前進していったほしい。

## 見つめ直して

生徒会長 大和田 稔

今までの活動の中で感じたことは、「仕事が厳しい」ことである。初めて仕事に失敗したとき、痛切に感じた。そのとき、言い訳は全く通用しなかった。どんなに自分が悪状況の中にあっても言い訳は全く通用しなかった。そしてそれは今ももちろん変わる事はない。また、生徒に対して、生徒会活動に関する情報を公開する機会があ

# 学校行事



中では、生徒会や実行委員会が基本をつくらなければならない。生徒会や実行委員が基本をつくらなければならない。

め来る夢心無し  
源しげいひこ

まりない。「情報」といっても今までのような「結果」（プログラム、会議での決定事項等）を公開するのではない。「結果」は生徒会タイムスをはじめ、「広報しらこぼと」で既に公開されている。「公開すべき情報」は、  
「どのようにしてその結果に達したか」である。これがまさに生徒会本部は、しらこぼと祭実行委員会は、予餞  
会実行委員会は「何」をやっているのかを示すことになると思う。そして、生徒会（生徒会本部ではない。）という組織が真剣に取り組むべき問題は、「生徒が自らその自治権を放棄している。」ことである。現在の高  
校生は見事に学習指導要領に従っているとしか私には見えない。  
小池 明

貝まひをめぬ直し...

では何故失敗に終わったのだろうか。まず第一に生徒会本部がそのおかげで、しらこぼと祭は打ち明ける形になるし、生徒会本部がそのおかげで、しらこぼと祭は打ち明ける形になる。生徒会本部がそのおかげで、しらこぼと祭は打ち明ける形になる。生徒会本部がそのおかげで、しらこぼと祭は打ち明ける形になる。生徒会本部がそのおかげで、しらこぼと祭は打ち明ける形になる。生徒会本部がそのおかげで、しらこぼと祭は打ち明ける形になる。



# しらこぼと さい

57年9月11・12日

テーマ「夢限・限り無い夢を求めて」

## しらこぼと祭

実行委員長 小林善典

『第十二回しらこぼと祭』 思わず「台風のバカヤロー」という言葉が飛び出してくる。ここで、あの思い出深い(?)しらこぼと祭までのいきさつを書いてみる。

六月に第十二回しらこぼと祭実行委員会が設けられ、九月に行なわれるしらこぼと祭に向けての第一歩を踏み出した。しかし、あまり良いスタートではなかった。三年生の受験というものの反動による無気力、やる気のなさによるものである。本来、実行委員長という大役は、三年生がなり、一・二年生の上に立ってリーダーシップを取るはずでなくてはならないのに、だれもやりたがらない。あげくの果ては、『自分達のクラスは、文化祭に参加したくない。』というクラスまで出てくる始末だ。これでは、先ゆきが不安である。

でもなんとか一学期中には、各クラス・部活動・同好会・有志団体の、参加内容や文化祭のテーマなどほとんどのことが昨年よりやや遅れながらではあったが決定した。

今回のテーマは、『夢限』であった。このテーマをめぐって、少々問題が起った。『夢限』の意味についてである。『夢限』は、夢を限ると書くので、文化祭のテーマにはふさわしくないのではないかという意見が出された。たしかにするどい指摘である。しかし、これは、考えすぎではないのだろうか。自分達の文化祭のシンボル

的なものであるテーマを悪い方へ解釈するのは、いま一つうれしいことではない。

この様に例年にはない問題が起り、それをなんとか切りぬけて夏休みとなっていた。休みは、ほとんど毎日、文化祭のために費やされた。しかし、休みも後半がすぎたのにまだゲートの設計図すらできていないのである。元来、のんびりしている私もさすがに焦った。中央会場部門長などは、『今年、本当にしらこぼと祭が出るのか』と悔し泣きする一コマもあるくらいであった。奇跡的にもゲートは、九月に入ってからであるが出来あがりなんとかしらこぼと祭が出来る形になった。

文化祭当日、台風が接近しているために雨となった。進路がそれを祈りながら、午前中に催される予定の歌の祭典は、終了した。このあたりから雨はますます強くなり、翌日が不安となってきた。そして、二日目、不安が現実となった。台風は、ゆっくりとした速度で、関東地方に向かってきた。緊急に職員会議もたれ、決定は最悪の形であった。『しらこぼと祭は、十一時で中止。』

後日、中央会場の残りその後夜祭が行われ、第十二回しらこぼと祭は、盛り上りを今一つかいてであったが、終った。

しらこぼと祭後のアンケートの最後に感想を求めてみた。その結果は、予想通り『しらこぼと』、『つまらなかつた』であった。それはそうである。確かに、しらこぼと、つまらなかつたと思う。でも、このしらこぼとつまらなさを作った基は、だれがつくつたのだろうか？ 中には、教員とか生徒会役員とか文化祭実行委員とか答える人がいると思う。生徒会や実行委員が基をつくつた点もあつたら

うが、もっと大きな基をつくってしまったのが北高全員ではないだろうか。私が実行委員長をやつてから、参加団体代表者会議に全員がそろつたことがないのである。文化祭に対する気持ちが強ければ全員出席してあたりまえではないのだろうか。私は、思っている。

今まで、えらそうなことを言ってきましたが、最後に一言。文化祭関係者の皆さん、ありがとう。めいわくかけました。来年の文化祭は、きっとすばらしいものになることを期待します。





# しらこばと祭テーマ曲

## 「夏風に揺られて……」

作曲 村山 繁・作詞 岡部真一郎

1. 窓からの夏風に 君は片手で髪を押さえて 少し眠たげに ノートを風に開けさせて 水色の笑い声聞きたくて ただそれだけで「冗談ばかりを云ってる様な僕は 明日にひかれる I'm in way 人生の途中は各駅停車
2. ※ (Ah 今夢を持って歩く人に語るには小さすぎる夢だけだ) 今日も四人組で帰って君の後姿を追いかけていってかける言葉も出せず 君のスカートを優しく揺らした風が いたずらに僕の横を通り過ぎただけ まるで冷たい川の流れるに 裸足で飛び込んだ そんな日の中に Ah 今夢を持って歩く 君のしやしき声おもしろいきり吸いこんで ※くりかえし

## 夏風に揺られて



# しらこばと祭テーマ曲

作 詩

三年九組 岡部 真一郎

「夏風に揺られて……」どうでしたか？ 普通テーマ曲というところ握りの希望を持って、さあ立ちあがろう！「みたいなイメージのものが多くけれど、そういうのはつまらないと思いテーマ曲ということにあまりとらわれずイメージソング的なものを書いてみよう」と（村山からも「風景描写を多くしてくれ」と言われていたし。）してみたりもありませんが、共感してもらえない部分もあったんじゃないかと思いますが、どうですか？ もっとも、男子クラスの人には……「窓からの夏風に君は片手で髪を押さえて——」オエッ。想像もしたくない……。それが坊主頭だったりして）

ただ個人的に不満な点が二点あるんです。それはサビの部分もテーマ曲臭さを抜こうと思ひ、直そうとしたら、生徒会の人に「せめてここだけは残しておいてくれ」と言われ、直させてもらえなかった事（この部分だけ浮いている様な気がしませんか？）それから直題について。実は元の題は「想ひ」だったんです。が、暗いから直して欲しい（？）ちなみに私はさだま、さしに似ているといわれますが暗くはありません、念のため）と言われ、「夏風に揺られて……」に直したんです。私メとしては、「想ひ」の方がストレートで良いと今も思っているのですが、どうですか？

## 1982年 歌の祭典

### 結 果

- 「しらこばと賞」  
1-6 色つきの女でいてくれよ
- 「歌 唱 賞」  
3-6 スカボロフェア
- 「ユーマア賞」  
3-1 タラッタラッタラッタ  
ウサギノダンス
- 「熱 演 賞」  
2-1 大ちゃんかぞえ歌
- 「アイデア賞」  
2-3 巨人の星「芝居つき」

結果は右の通りである。ここで一つ面白い事に気付くはずである。歌唱賞の三ノ六を抜がして他は全て男子クラスなのである。やはり男子ばかりの方がまとまりがあるのだろうか。まず一ノ六であるが種々の楽器の利用がうけたのだろう。三ノ六、極めて真面目なコーラスであった。そして三ノ一、ウサギの耳をつけドタバタやっていた。今回の歌の祭典はこのタラッタラッタラッタで幕を開けたのだ。二ノ一の大ちゃんなんかはわけがわからず何か面白かった。二ノ三、芝居（パントマイム）付きの巨人の星。星君の飛馬、水沼のパン、美術部塚越君の親父、美術部部长横チンの花形、聖書研究会嶋田の姉き、九法のカキーン、（この音は聞こえなかった。）ところで星君は合唱部、水沼は空手部である。一九八二年の歌の祭典は男子クラスの圧倒的勝利に終わったのである。

と、まあ、ほとんど自己陶醉の中で作り上げたんですが、これを讀んだ人の感想がひどかった。いわく

「軟弱だなあ」。いわく

「なんか女の子みたい」。いわく

「岡部君で、ロリコンでしょ？」

「ドキッ。うっ、うるさいわいっ！俺のどこがロリコンだ！つかさちゃんの写真集見ちゃいけないのか！つかさちゃんのレコード聞いちゃいけないのか！つかさちゃんのポスターをはると、ロリコンなのか！（……書いてて、情けなくなってきた……）」

そんな事より一番興味があったのは校内に流すためのテープ作りでした。放送室で私らだけで録音したのですが、さすがに自分の声が校内に流れた時は、おもわず背すじがゾッとしましたが……。中には若干一名テーマ曲とは思わずプロの曲だと思っただけで、非常に奇特な人もいたらしく、それを聞いては喜んでいる私らは非常にライトだった。

まあ、暇がありましたら、もう一度「夏風に揺られて……」に目を通してやってください。それに関する感想を持って来てくれた人の中から抽選で一名様に「村山繁」をお送りします。





## やったぞ 男クラ! しらこぼと賞

一年六組 六名

九月十一日。ぼくたちにとつてのはじめてのしらこぼと祭が行われた。ぼくたちは男子クラスというハンディを背負いながらも、しらこぼと賞を受賞した。一番力になったのは、バンドの連中だと思ふ。歌うやつよりもバンドのほうがよくがんばったようだ。曲名は「色つきの女でいてくれよ」でした。この曲は他のクラスも希望したんですが、くじを引いたM・T君のおかげで我クラスの希望の曲がとれました。しかし、このしらこぼと賞は、バンドの力でとつたようなものだとぼくは思ふ。ドラムのN・H君、ベースのT・T君、ギターのS・O君、T・I君、T・Y君、キーボードのG・H君、そして指揮のK・S君このメンバーが特になんばりました。とはいっても歌もそうとうにがんばったようです。歌は六パートに分けたんですが、高い声のパートなんかは、声が出ない、などといっていましたし、低い方は低い方で、やっぱり声が出ないと文句を誰に言うともなく言っていました。そのような状態が続きながらも一人一人が、他人のことを言うからには、自分がしっかりと歌わなければという気持ちをもちはじめました。ぼくたちがしらこぼと賞を受賞した影には、このような事がありました。

指揮者が手を上げる。みんなはいっせいに準備をする。前奏が始

た声よりはるかに大きく、レコードの音だけが響きわたるということになり、しらけきってしまった、歌っている途中でも、早く帰りたいという気持ちでいっぱいだったことを、今においてもおぼえている。歌う曲が決まったのは、一学期の期末テストが終わったころに、ある一人の女子が提案し、クラス全員の投票によって、サイモンとガーファングルのスカボローフェアという曲に決まる。決まった時は、はっきり言って不満であった。いまサイモンとガーファングルがはやってる時だといえ英語の曲を歌うとは、まだ音楽を選択している人はいいが、書道を選択した人間にとつてはたまらないのだ。

しかし、決まったからには、文句は言えないので、夏休み明けから、練習を始めることになる。我がクラスは、音楽選択者と書道選択者に別れていた。だが幸運なことには、男子は書道選択者が多かったが、女子は大半が音楽選択者であったことだ。まず苦労させられたのは、英語の詩である。知らない英語などもあり、またどうやって詩の言い回しをすればうまく歌うことができるか苦労したものであった。

練習はよく行なわれた。女子が中心になって、ロングホームルームの時間や放課後毎日残ったり、また、当日は、朝早くから学校に来て練習したのである。さすがに音楽選択者は覚えるのが早い、書道選択者はなかなか覚えられなかったが、どうにか覚えて、当日になった。

当日、我が三年六組は十四番目に歌うことになる。できたら早いうちに歌いたかった。それに、その前のクラスが三年八組で、三年八組は、うまいという前評判であったので、しまった、という気

まった。そして、全員で歌い始めた。みんな何をやっているのかわからないが、夢中で自分のパートを歌ったと思う。みんな練習中も、ばかりでかい声を出して歌っていたので本番になっても練習の時以上の大きい声が出たようだった。そして、あっといふ間に、終ってしまった。その時は、何かホッとしたような、とてもうれしい気持ちになった。ただ、一曲を歌うだけで、やった、みんなで歌えたという充実感があった。それだけで、もう十分だと思った。そして発表、席に戻る途中、先生方の評判がよかったのもしやと思っていたが、それが現実になってしまった。なんともいえないいい気分になってみんまでよろこびあった。とてもいい思い出のページが出来たと思ふ。

## 歌唱賞をもらって

三ノ六 新井

我々三年六組は、第十二回しらこぼと祭の第五回歌の祭典において歌唱賞を受賞した。我々三年六組の担任の奥沢先生というのは、前から担任したクラスでは必ず歌の祭典において、なにかの賞に輝いているという話を聞いていたので、今年の三年六組というクラスでは、初めて何か賞が取れるのではないかと大いに期待していた。僕の前のクラス、一年五組の時には、よせばいいのにという曲を歌ったのであったが、うまくいかず、しらけてしまった。また、二年六組の時にも、君に会いたい、という曲を歌ったのであったがこれは最悪で、レコードそのままの声の音のほう、僕たちの歌っ

持が頭の中を通りぬけた。三年六組がしおれたことをしたのであったがあせらずに、できるだけのことをして、歌った。まあまあの出来だったと思う。僕はまだ仕事の残りがあったので、途中で教室にもどっていたので、他のクラスのこととはあまりわからなかった。ついに成績の発表で歌唱であることが決まって、うれしかったです。今年のしらこぼと祭はあいにく台風の影響によって、日曜日に半日しかできなかったために、歌唱賞の受賞は、今年のしらこぼと祭の最高のいい思い出になった。



## ♥ミス・アンド・ミスターしらこぼと♥

今年初めて行われた「ミス&ミスターしらこぼと」で輝かしい第一回ミス&ミスターしらこぼとに選ばれた、飛沢さんと金田さんの二人にインタビューしてみました。



Q どうして「ミス&ミスターしらこぼと」に応募したのですか。

ミス 推薦されてやむを得ず…。  
ミスター クラスの人に推薦されて、やむを得ずです。

Q ミス&ミスターに選ばれる自信はありましたか。

ミス なかったです、全然。

ミスター そりゃあ当然！

Q ズバリ、ライバルはいましたか。いたらその人は？

ミス えっ!? ライバルっていったら皆んなだと思います。

ミスター 鈴木ひでひろ。三年十組。

Q 自分のチャームポイントはどこですか。

ミス ストレートな長い髪と、笑うとなくなる目です。

ミスター うーん、スリムなボディかな。(確かにスリムだ)

Q 当選した大きな理由は何だと思えますか。

ミス 他の人よりも、ほんのちよっと票が多く入ったからじゃないんですか。自分じゃ、本当にミスしらこばになれるとは思ってなかったもので、よくわからないです。

ミスター そうですね、俺の場合、女性ファンが多かったからでしょうね。やっぱりこれです。

Q ミス&ミスターしらこばになってから、周りの目は、どう変わりましたか。

ミス 我自己、自覚がないんで、よくわかりませんけど、以前と変わらないと思います。

ミスター 何か、周りの視線を気にしちゃいますね。

Q では最後に一言お願いします。

ミス どうして私なんか選ばれたのか不思議なんですけど、私に投票して下さった方、どうもありがとうございます。

ミスター もっと賞品が欲しかったー！

## クラス賞をもらって

### 二年二組

我が二年二組はしらこばと祭において、クラス賞一位をもらいました。さて、これからしらこばと祭までの涙ぐましい私たちの努力をみなさまにお話しします。

二組は、TVの『クイズ100人に聞きました』を、アンケートを学生にしぼって、『クイズ学生さんに聞きました』で行おうということになり、TVのとおりセットを作り始めたのであります。クラスを、アンケート、会場、装飾、音響の四つの係に分けて、それぞれの仕事を進めていきました。まず、大変だったのは、夏休み前にアンケートを刷って、他校へもって行って答えてもらったことです。全部で、たしか十六校だったと思いますが、とにかく日にちがないので、大変な忙しさでありました。しかし、ふざけた学校もありまして、百五十枚もって行って、ていねいにていねいに頼んだのに、受け取りに行ったら、五十枚もやってなかったり…。また、結局全然連絡がとれずに、ポツにした学校もあったのであります(越谷市内の某高校です)。夏休みも学校に集まって、集計し画用紙に絵を書きました。我が二組には、すばらしいイラストレーターがおりまして、実にスムーズに仕事が進みました。

何といっても大変なのは、会場の大道具であります。実に我々はボードを回転させる仕組みにしようかとがんばったのです。そしてボ

## ミスしらこばと

### 飛澤美樹子

美術部に所属して、毎日絵を書いていきます。明るくてとっても素敵な人ですよ。さすが、ミスしらこばとに選ばれるだけあってかわいいです。彼女に会いたいです。は、二年九組までどうぞ。

## ミスターしらこばと

### 金田 毅英

三年十組のヒーローです。とっても親しみやすい人で、これが魅力の一つなんだと思います。『自分の魅力は』の問いに『スリムなボディ』と答えてくれましたが、本当にスリムですよ。残念ながら、今年で卒業してしまうのです。輝ける第一回ミスターしらこばとに拍手！



ードは感動的に出来あがりしました。ただし、二日もつかかわからないので、手を触れないで…のただし付きで。その上、得点板などもしっかり作り、準備は着々と進みました。二組に来てくれた方は、よくおわかりだと思えますが、司会者の前の答えの席(ボタンの早押し台)など、実によく出来ていたと思いませんか。それに、必死に働く裏方さんを隠そうと、白い壁も作られたのです。この壁のせいで、ズボンを白く染めてしまった人もいます。勝った方にはくす玉を割って、女子の手作りマスコットをあげることにしたのですが、くす玉は始まる前から何度も落ちて装飾係を悩ませたものがあります。

さて、何度もリハールをくり返して、十二日に本番がはじまりました。司会者には、まるで関口宏の霊がとりついているかのようでした。実に会場も盛りあがってくれまして、大成功に終わったのであります。音響係をはじめとする裏方さんたちは、やっと戦争が終ったような安堵感がありました。音響係はTVからいろいろ録音したり、玄関のベルを録音したり、インターホンを持ってきたりして頑張ってくれたのです。ボードや得点係はもう安心していられないのです。ボードは裏で絵をかけ直したり、音楽に合わせて回したり、それはそれは大変な忙しさです。それにも増して得点係は、すばやい計算力が要求されますので、神経の疲れ方も大へんなものです。その上、桜井小のチビちゃんたちが来ていましたので、計算を間違うと、何を言われるかたまったものではありません。

いよいよ十三日。実はこの日、岩槻高校、独協埼玉の二チームが、来てくれるはずだったのです。それなのに…、にっくき台風十八号がしらこばと祭を打ち切らせてしまったのです。せっかく、やっと



の思いで出場者を集めたのに、台風のパカヤローノ 本当に台風のせいで、準備したゲームもできなくなって何とも淋しい幕切れとなっていました。

こうしてしらこぼと祭をふり返ってみますと、いろんな人が、いろんな所で頑張ったとつくづく感じます。準備前は何もする気なかった人がやたら力を発揮してりっぱに仕事をやりとげてくれたり遅れた仕事を手伝ってくれたり、本当にみんなで頑張ったと思います。ですから余計に打ち切りになったことが残念でしたかありません。しかし、我々のした事はクラス賞という形になって残りました。これを機会に二組はもっと前進しようと思います。みなさん、ありがとうございます。これで失礼します。

## クラス賞をもらって

二年八組 早坂 巖

文化祭で自分達のクラスが三位になったそう。自分はこの朗報を耳にした時、思わず涙ぐんでしまった。これから、あの楽しかった文化祭の思い出を語ろう。

自分のクラスは二年八組である。男子二十三人、女子二十三人、これがあの栄光の賞を手にするに至るとは誰が想像できただろう。最初自分のクラスは、おぼけ屋敷という案があった。自分としては

## 文化祭

二年三組

とうとう文化祭の当日の日がやってきた。夏休みに入る前から、僕たちのクラスは何をやるのか、決まっていた。

僕は、高校に入ってから、ほとんど文化祭の仕事をやった試しがない。特別な理由はないのだけれど、ただなんとなく周りに流されているのだ。『仕事なんて、やりたいやつだけやらせとけ。』という気が持ったからだろう。高校二年になっても、その気持ちに変化は見られなかった。

夏休みに入って、文化祭実行委員の人から、暑中見舞を兼ねた一通の葉書が届いた。『七月二十九日に越谷市民会館で、反核、平和を願う集い。』と言うのをやるそう。何をかくそう僕たちのクラスは、核を見つめてと言う題で、文化祭を行うことを予定していた。なんだか暗い気分になるが、行ってみようという気軽な気持ちで行った。すでに何人かの友達、会館の前で待っていた。僕たちは早速中に入って行った。映画の上映をしていた。二フィート運動と言うもので、アメリカから買いよせた原爆による広島、長崎の被害状況をおりこんだ実写フィルムだった。目を背けたくなるような場面ばかりだった。映画のあとは、ただぼうぜんとしていた。その後、核兵器に対するいかりがこみ上げてきた。それがおさまると、今度は、自分は大丈夫だろうか？という不安がやってきた。会館内では、熱っぽい講義が始まった。核兵器の量や質のことを話していた。アメリカの百万人デモの話もした。話によると、現在の日本人よりも、他国のの方が熱心にデモを行なうそう。『デモか。デ

昨年、一年十組の時に恐ろしい実態をまのあたりにしているだけに大いに期待した。昨年号の「しらこぼと」一年十組、ものぐさで、だらしない男である金子雅美氏の文章は皆の記憶に新しいものである。

さて話題を元に戻すが、自分のクラスは結局、「縁日」をやることになった。当初の予定では「食うもん」を売るはずだったのだが中止になってしまった。悲しむ者も多かったが、販売担当になりそうになった自分としては、あのいまわしい検便を逃がれた喜びで胸がいっぱいだった。あえて問われないが誰でもあの検便には苦しい思い出があるだろう。

我々のクラスの「縁日」だが、かなりの盛り上がりがあったようだ。古本、これは SEXY VOICE の木村君や、髪の毛のびが悪いと悩む片岡君の活躍がみられたようである。

バスケットボール、これはガキの絶好の遊び場だった。奴らは破壊を楽しんでた。自分が見た時、一握りほどのガキが、ボールをリングにめがけて全力投球しているではないか。ほんとうにどこのクラスでもガキの行動には手を焼いていたようである。

その他の販売には自分のクラスの GAL が大いに活躍した。浴衣を着て、売り娘と化していた GAL もいた。

今まで書いてきたように、自分達のクラスの「縁日」は大成功を治めることができた。これはクラスの団結に他ならないと思う。他のクラスの団結がなかったとは言わない。しかし何か熱いものが自分のクラスには感じられた。この熱いものが後でやった打ち上げパーティーにまで及んだのだ。自分は「ああ『縁日』にしてほんとうによかった。」と痛感している。

モをやっても、お祭り事と思ってやっては何のいみもないんだなあ。』と、思うと、むなしくなった。そのまま家に帰った。『今日のことを文化祭に役立てたいなあ。』と、思った。とうとう文化祭二日前になった。各班に仕事が分担されていたので、発表の日には仕上がり予定だった。僕は、あいかわらず大した仕事ができなかった。僕たちのクラスの見せものにビデオ上映があった。ビデオは、大変苦労をしたらしい。『僕も何か仕事をしなくちゃ。』よくわからないけど焦った。しおりを作る仕事が残った。しおりを製作するといっても僕は出来上がったしおりを折ることしかできなかった。

文化祭の日がやってきた。僕は合唱同好会のコンサートに出るため教室にはたいしていなかった。夕方になると少しづつ人も少なくなって来た。僕は来客の人をつかまえて解説を行なった。その中の一人に養護学校の先生がいらっちゃった。ひと通りの説明を聞いて『私たちが頑張るわ!! これからも頑張ってください。』と言ったのが印象的だった。文化祭二日目は台風が文化祭をだめにしてしまった。でも僕は、今回の文化祭で何かいいものを見つけた気がした。





- Q12. パンフレットのページ数はどうでしたか。  
 多い2.2% 適当63.2% 少ない33.6% その他1.0%
- Q13. バンドフェスティバルは、やってよかったと思いますか。  
 はい65.8% いいえ5.0% わからない29.2%
- Q14. 今年の装飾はどうでしたか。  
 よい14.3% ふつう56.3% 悪い29.2% その他0.2%
- Q15. 広報しらこぼとの発行回数はどうでしたか。  
 多い5.4% ちょうどよい59.7% 少ない34.4% その他0.5%
- Q16. 広報しらこぼとの内容はどうでしたか。  
 よい10.5% ふつう61.4% 悪い26.3% その他1.8%
- Q17. クラス賞について  
 (1) 知ったのはいつ頃ですか。  
 6月7.9% 7月9.1% 8月2.6% 9月14.2%  
 知らない66.2%
- (2) 賞の投票者を一般客にしたことはどうですか。  
 よい52.6% 悪い13.7% わからない33.7%
- (3) 来年もあった方がよいと思いますか。  
 はい42.2% いいえ10.2% わからない47.6%

by Yoshinori

今年もしらこぼと祭が終わりましたが、皆さんは何を感じていますか。今年の天候は最悪で、とうとう打ち切りという、淋しい幕切れとなってしまうました。せっかく何日もかかって準備をしたのに、と悔しく思っている人がほとんどだと思います。特に三年生の方は高校生活最後の文化祭だっただけに、その悔しさもなおのことでしょう。

しらこぼと祭全体を見ると、例年通り娯楽物が多かったように思います。が、中には、二年三組の「核について」という研究発表も行われました。これは昨年にはなかった事で、素晴らしいことだと思います。中央会場の方は、天候不良のため観客は今一歩という所でしたが、どの団体も熱の入った演目を披露してくれました。

さて話は変わりますが、北高と同日に、春日部女子高も文化祭でした。春女も我が高同様文化祭がまともに行えませんでした。しかし、春女は、翌日、文化祭をやり直したのです。これには北高生から、多くの「うらやましい」という声が上がりました。北高生は、しらこぼと祭をまともに関催しなかったのです。北高にも、春女のような措置を考えてもらいたいと思いました。年に一度の、しかも最大の行事であるしらこぼと祭が、あのような形で終わってしまったことは非常に残念です。来年度こそ、立派なしらこぼと祭が開催できるように、全校生徒で盛り上げていきましょう。

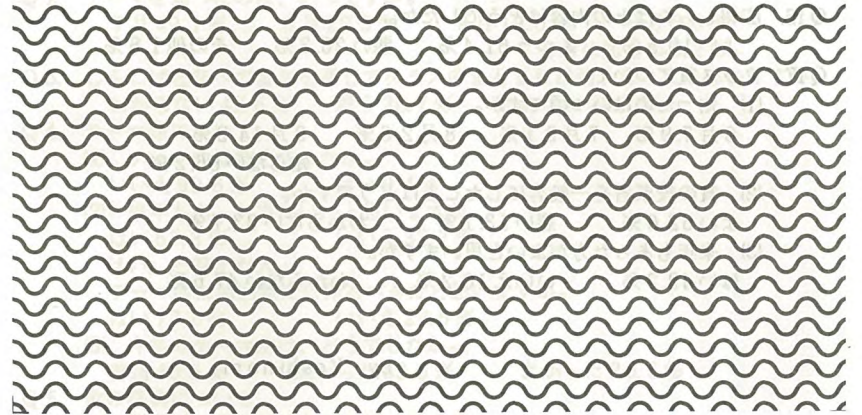
## しらこぼと祭アンケート

先日行われたしらこぼと祭についてのアンケート集計結果が出ました。次回のしらこぼと祭成功のために生かして下さい。

- Q1. 今年のしらこぼと祭の時期はどうでしたか。  
 早い62.9% 適当24.5% 遅い6.7% その他5.9%
- Q2. テーマを知ったのは、いつですか。  
 7月49.1% 6月29.5% 9月10.6% 8月5.6%  
 今だに知らぬ5.2%
- Q3. しらこぼと祭への参加を通してクラスのまとまりは強くなったと思いますか。  
 わからない42.6% 思う28.7% 思わない28.7%
- Q4. テーマ曲について  
 (1) テーマ曲は歌えましたか。  
 いいえ90.6% はい9.4%
- (2) 来年もあった方がいいと思いますか。  
 はい67.3% いいえ32.7%
- 「はい」と答えた人  
 テーマ曲は毎回新たに作るべきだと思いますか。  
 はい77.5% いいえ22.5%
- (3) 今年のテーマ曲は、どうでしたか。  
 普通40.5% 悪かった33.5% よかった26.6%
- Q5. 歌の祭典について  
 (1) 練習は、十分にできたと思いますか。  
 いいえ74.6% はい25.1% その他0.3%
- (2) 練習を通してクラスのまとまりはできたと思いますか。  
 いいえ61.2% はい27.0% その他1.8%
- (3) 各クラス、審査員を出したことは、どうでしたか。  
 よかった83.0% わるかった16.1% その他0.9%
- Q6. 中央会場は見ましたか。  
 いいえ52.2% はい47.8%
- Q7. 販売について  
 (1) 食品販売を昨年より1団体増やしたことはどう思いますか。  
 よかった85.5% わるかった13.1% その他1.4%
- (2) 販売団体数は、どうでしたか。  
 ちょうどよい58.5% 少ない31.1% 多い8.8%  
 その他1.6%
- Q8. しらこぼと祭のビデオを放映した方が良いと思いますか。  
 どちらでもよい52.8% はい34.6% いいえ12.0%  
 その他0.6%
- Q9. 後夜祭に参加しましたか。  
 いいえ59.4% はい40.6%
- Q10. 今年から始まった「ミス&ミスターしらこぼと」をやってよかったと思いますか。  
 いいえ70.2% はい27.3% その他2.5%
- Q11. 招待券の販売について  
 (1) 販売方法は、どちらがよいと思いますか。  
 現金と引き換え68.3% 前払い30.2% その他1.5%



# 体 育 祭



## 体育祭で身につまされて

実行委員長 菅 隆之

マンネリの打破が叫ばれる様になって久しい体育祭だが、今まで一応考えた通りの事はしてきていると思う。それはそれでいい。皆でやってきたことだから。けれどそれで何が残ったのかが問題なのである。何度も同じことを繰り返す大事な理由は何処にもない。そう言った意味で言えば、遊戯化した部対抗リレー、玉入れなどを廃し、競技も一新するという点から言えば今年の体育祭は思想的に新しかったと言える。

体育委員長になった自分の頭にまず最初に浮かんだものは体育祭だった。やるからには楽しくなければならぬ。充実させなければいけない。などと今年のフジテレビのキャッチフレーズみたいな事を考えていると気はめいるばかりであった。体育祭なんて終わってしまえばあつけないものだが、それまでの苦労は大変である。ましてや今回は大幅な改革が行われることになった上に委員長の優柔不断の持ち味がいかんなく発揮されたのだからなおさらである。そんな中で実行委員の諸君と各運動部の働き、そして特に用具係は予行もなく物と資金が乏しい中でのきつい注文と高い理想のために苦しい仕事も不平一つ言わずによくやってくれたと今でも心に残っている。そんな話し合いはいい加減だがやるべきことはしっかりやるという素晴らしくかわいくない裏方と、これ又熱し易く冷し易いという我

校の実に軽薄な校風が見事に調和し、想像以上に体育祭を盛り上げてくれた。当然大して力になれなかった自分にとって（もちろん、謙遜ですけど）この上ない喜びであふればかりとなり、こう言う風に他の事もうまく行けばいいのに。とちよびりセンチメンタルな気分になった。

確かに現場を頂かざる者にとって企画倒れは怖い。自分の責任において物事がなされるという事はどれだけ自分が重いか、って言うことだ。今まで通りにやれば無難にすむとも思う。かと言って自分にも意地があるというジレンマは絶えずあった。結局はつまらなくならぬと思っただけの少少良心的に努力すればいいだけの話である。いい体育祭にする材料なんていくらだってある。そう言った所から見ればこの学校は本当にいい学校だと思っし、誠に愛すべき人達がいる学校だと思っし（とか何とか言っしてシラけてたらこんな事書けなかったと思っしと歯がグラグラしてしまっし）。

と言いつつも主役は我々の生徒で体育委員は脇役。両者ともそれに徹しなければならぬ。お互いそれを全うした時に初めていい舞台になる。そのための努力と誠意なら惜しみないのが当然なのだと思っし。その点、今年は委員長在任中に素敵な体育祭をすることができたと思っし、それに携わることができたのは本当に光栄に思っし。一つだけ、予算を来年は考えて欲しい。そうすれば仮装行列の時、優勝したペンギンを除いてあんなふびんな思いをさせなくてすんだらうに：と悔やまれてならない！

末筆ながら委員会と部活動の諸君、無力な自分たちを支えてくださった宗村先生をはじめとする体育祭の諸先生と全校生徒に心からお礼を言いたい。

## ぼくらは勝った

白組 吉野 誠



九月二十日午後三時、我々白組先棒隊三年二組男子四十八名は、一枚の賞状を前にして茫然と立ちすくんでいた……。

「勝ったんだ……。そうさ、ぼくらは勝ったんだ」という実感が、疲れきった肉体をむしばむどんよりとした意識の下からバスクリンの入ったお風呂に、メンフラハップをはったまま飛びこんだごとくにジワジワと体の奥へと浸透してくるのを感じ始めていたのであった。

君達は覚えているだろうか？ 我が白組の仮装行列の先頭に立っていた、そう北高に咲く一輪の花？ シルクキッシュ武田を。

彼はあの時、人生の全てをかけていたのだ。彼は二度と男と呼ばれる日のないことを知りながら、あえて仮装行列にいらんだのである。優勝という栄光の影に、自ら男を捨てたという悲しい悲しい物語があった事を忘れてはならない。

そして、一丸となって頑張った三二八、二二二、一一一、一一二



の諸クラスの血と汗と涙でできた努力や闘魂ぬきではこの優勝はな  
 かっただろう。

## ペンギン哀歌

緑チーム仮装代表者の弁?

今だから言えるけれども……私たちは絶対に優勝する自信があっ  
 た。と、いうよりも、優勝しなければならなかったのだ。我がチー  
 ムの舞台裏をのぞいたら、心ある人ならば、そう思うにちがいない。  
 それほど、この栄光の裏には数々の苦勞があったのだ。

まず、二年一組の教室では、六、七人の男子生徒が、1kgボンド  
 を片手にペンギンの頭を作っている。発泡スチロールをカッターで  
 切って作るのだが、これが、なかなか適当な大きさの発泡スチロー  
 ルがなく、しまいには、黒いつめえりが白いかすで真白になってし  
 まう。女子生徒はペンギンの衣装づくり。例のCMを何度もくり返  
 し見たり、図鑑でペンギンを探したりして、これも一騒動。二ノ六  
 のIさん曰く「徹夜で作った」、できあがった頭と衣装を持って、  
 三ノ六の教室へ。そこでペンギン役の三人は、まず、古いマットレ  
 スを体に巻き、ひもできつくしはる。その上から白黒の衣装を着、  
 手、足、頭をつけて踊り?の練習をする。九月といっても残暑。

## チーム色別

緑	1-6	1-9	2-1	2-6	3-6
黄	1-3	1-4	2-10	3-7	3-9
白	1-1	1-2	2-2	3-2	3-8
赤	1-5	1-7	2-3	2-9	3-3
桃	1-10	2-4	2-7	3-1	3-10
青	1-8	2-5	2-8	3-4	3-5

## プログラム

- 開 会 式 9:00
  - 開 会 宣 言
  - 学 校 長 換 拶
  - 生 徒 会 長 換 拶
  - 実 行 委 員 長 換 拶
  - 競 技 上 宣
  - 選 手 宣
- 競 技 9:20
- 閉 会 式 15:20
  - 成 績 発 表
  - 表 彰 評
  - 講 評
  - 実 行 委 員 長 換 拶
  - 校 歌 斉 唱  
(万歳三唱)
  - 閉 会 宣 言

種 目	競 技 者	場 所	時 間
1 体 操	全 員	F	9:20
2 100 M	男, 女	S 1~G 1	9:30
3 200 M	男	S 2~G 2	
4 パン食い競走	男, 女	F	
5 50 M背走	男, 女	F	10:15
6 棒 引 き	男, 女	F	
7 ハードル走	男, 女	S 1~G 1.3	
8 あめ玉さがし	男, 女	F	
9 1,000 M走	男, 女	S 2~G 2	
10 4人5脚	男, 女	F	
11 借り物競走	男, 女	F	
12 棒 倒 し	男	F	
13 スエーデンリレー	男, 女	S 3~G 2	11:30
昼 食 ( 仮 装 準 備 )			
14 仮装行列			12:50
15 風船割り	男, 女	F	
16 ムカデリレー	男, 女	S 2~G 2	
17 1,500 M	男	S 3~G 2	
18 来賓演技	来 賓		
19 職員演技	職 員		
20 綱 引 き	男, 女	F	
21 騎 馬 戦	男	F	
22 ダ ン ス	2 男, 女	F	
23 徒手体操	1.2 男, 女	F	
24 チーム対抗リレー	男, 女	S 2~G 2	15:00



汗だくになって踊りまくる。そして、何といっても忘れられないの  
 は、五人の美女??たち。わざと、五人とも男子クラスから選んだと  
 いう、スタッフの意地の悪さ。ファンデーションをぬり、おしろい  
 をつけ、口紅、アイシャドウ、頬紅までつけた化粧。衣装は、ピラ  
 ミラの腰ものに、黄色い胸あて、黄色いリボンなどであった。およ  
 そ、十日間、踊りの訓練にも五人は耐えた。  
 さて、本番は、皆様御覧になった通り。「かわいい!」「気持ち  
 悪い!」御意見は様々でしょう。けれど仮装関係者は、今までは違  
 うとても HAPPY な体育祭を送ることができたのです。あの一枚  
 の賞状の眩しさ……。

今年の夏、軽快なリズムにのってペンギンと美女が乱舞する、あ  
 のCMが、もう一度茶の間をわかせることを私は期待している。あ  
 のCMも我が家の必需品です。お願いしますよ、サントリーさん!!





# 強歩大会

男子優勝者

天野 敦仁



去る、一九八二年の十一月の初めに強歩大会は開催された。開催されたなどと気楽な事を言っとるが、長時間タカタカ走り続けたあの苦しみは大きなものであった。では私の体験を通し強歩大会について記すしよう。まずコースについてである。私は思うのだが、わざわざ電車に乗って三郷まで行き走る必要があるのだろうか。何もあのような北高から遠いコースを選ぶ必要はないと思うが……。個人的に言って私は一度行った道をひき返すというのが嫌いである。つまり、強歩大会のコースも同様に、私を憤慨に導いたのである。苦しさに耐えつつ走り続け、女子の折り返し地点を過ぎ、工事中の道を過ぎ（何年も前から工事中である、一体何時でいいのか）、そして片道走り終え、やったーなどと半分満足に浸っているのだが、又、同じ道を引き返すのである。何と無駄な馬鹿馬鹿しい事であろうか。あーっ、もうスペースが無い。仕方ないので最後に一言。ゴールの牛乳は一人二本にするだべ。

越谷北高の強歩大会は、なんと三十三km。それを知った時はさすがに驚いた。そしてスタート地点に立った時には、はっきり言って恐怖すら感じた。その三十三kmという距離、生まれてこの方、一度も走ったことはないし、想像もつかない距離だった。ほくは走る事が好きで好きで、今まで走っていた。それでも不安が募り、恐怖にかられてついつい、何も無理して走る事はない、今までに走った事のない距離だし、完走すれば充分だ、なんて思って、スタートしてしまった。しかし、一歩走り出してしまったら、今度は、スタートまでの恐怖感など消えて逆に、この先輩達に勝ちたい、先輩達だって一、二年の時に走ってきた距離なのだから自分に走りきれない距離ではないだろうと思った。前半は先輩に負けたくないという一心で走った。そして後半は自分のペースで走っていった。そうやって三十三kmを走り終わった時には、前半あれ程、強く思っていた、先輩に勝つという気持ちより、途中で何度かくじけそうになりながらも、遂に休むことなく帰ってこれたという満足感の方が残った。三十三kmなどという、今まで自分の走った事のなかった距離では、一位をめざすとか、あの人に負けたくない、という気持ちよりも、ああ苦しいから休んでいこう、という気持ちにムチ打ってでも、走りぬく事、そして誘惑に打ち勝って走った人すべてが勝利者だと思っただからほくは、一位という事よりも、弱い自分の心に負けずに走れた事に満足している。記録的にみて、去年優勝した先輩に、はるかに遅れをとっているのは残念な事の一つだが、あのゴールインした

時の、一歩も休まず完走できたという満足感を求めて、これからも頑張っていきたい。

女子優勝者

高橋 千佳子

校長先生のピストルの音と同時に、体がこわばったあの瞬間、とにかく二十km絶対走りぬけてやるぞと気持ちをいれると、昨年よりもずっと、おそろしさみたくないものを体感した。

前年、折り返しまでは、上位につけていたほうがいいと思ひ、自分のペースと合わせながら走ったつもりだ。しかし、そこでは、我が部が上位を占めていて、やはり心ならずも負けたくない、という気持ちが出て、マイペースをくずしてしまおうとこわかった。また、そのふんい気がなくなると、いやだったのを覚えている。先頭とだんだん離れてしまい、見えなくなった時は、「もうだめかな。」と少々あせり気味だった。

一年の時、上位にくいこめたという誇りみたいなものがあったので、今年も頑張ろうとは思っていたが、今年も皆、それぞれ鍛えていて、大会前から今大会の難儀ぶりがかがえていたので、昨年より一番でも上まわりたいと思っていた。一年の時、やっぱり信じられないくらいの特等席だった。

後半は昨年のパターンと同じく、一気に追い抜きをかけた。やっぱりこの方法が、私には一番合っていたらしい。先頭に立ったものの、そこからは大変だった。高速道橋まではそこを目標として走っ

てこられたのだが、そこを過ぎると、足はつりそうになるし、目標とするものもなくなると、自分の弱い心とのほげしい闘いだ。最後の坂をおりたときは、自分が分らないといった感じで、ゴールまでがやたら長いうえに、後ろから誰かが近づいてくる殺気がして、本当にこわかった。

ゴールを目の前にして、「ガンバレ」という声がかすかに耳に入ったが、ほとんど、ゴール付近にいた人も分らない状態で、ただ地面に書かれてあった、「女子ゴール」という白文字がやたらくっきりと頭の中に残っている。

このように、今から考えてみると、やりぬいたという満足感とともに、一位という特等席に坐れた喜びをひしひしと胸に感じる。

こんな経験がこれからの、挑戦する何かに、役に立つような気がする。また、高校生活において、このような、名誉的な体験を持つたことに喜びを感じるとともに、これからの励みにすることだろうと思う。





# 「JUST 100番」

立花若菜

予め言うておきますが、タイトルにもある様に、私は決して強歩大会に特別強くもなく、優勝者でもなければビリでもないただの帰宅部、JUST 100番なのです。私の話は、この様に走れば速くなるほどそんなアドバイスのものではないのです。あしからず。

当日私は、スタート10分前に友達とトイレに行きました。ところがトイレを出た時は、すでにスタートのピストルが鳴り終わっていたのです。私達は大変慌て、土手をかけ登るはめになってしまいました。まったく初めての大会にスタートも並ばず、下からはい上がって行くなんて、と思いつながら順位的には三〇〇〜三五〇のところをこのこ走っていました。なんといっても、高校に入って運動といたら体育ぐらいだったので到底順位など気にする「き」の字もなくプレッシャーなどもありませんでした。ただひたすらリズムだけはくずさずにマイペースで走ろうと、前の晩決心したのでした。

ドッドッ……隣りを足音を立てて抜いて行く先輩達。なーんの抜かされたって構うものか。なんたって女子のマラソンはそうじゃなくても「龍頭蛇尾」なんだから今に抜けるさ、と慰め、走りました。6km 8km……と走って行くうちに、いつの間にかさっきの先輩達も抜き、折り返し地点もあと僅かというのに快調でした。ペースが遅いせいかな?! 一つに私は昔から土手が好きで、いつか土手をどこまでもずーっと走ってみたいかったです。それが、今こうして走っていられることがとてもうれしかったです。

そのうちに十三kmくらいになって、人も疎らになり、苦しくなってきました。特に足が機械的に動く感じで、今ここで足を止めたら二度と機械は動かなくなってしまうだろう、と思いました。胸のポケットからラムネを一粒とり、口に含んだだけで気も粉れず辛くなっていたのです。足が一番痛かった時、「足さん頑張ってるね。よくこの重い私をここまで運んでくれたね。ありがと。よし、気持ちだけは足の分まで頑張るから。手さんも頑張ってカバーしてあげて。」なんてことを、肺が苦しい時、腰が痛い時、語りかけて走っていました。するとゴール1kmくらいになった時、不思議なことに今までよりずっと足がよく動き、ラストスパートでぐいぐいと6〜7人も抜いてしまったのです。きつとあの時の語りかけがよかったのだと思います。本当に私の力じゃなく、体が自ら動いてくれたのです。不思議でした。

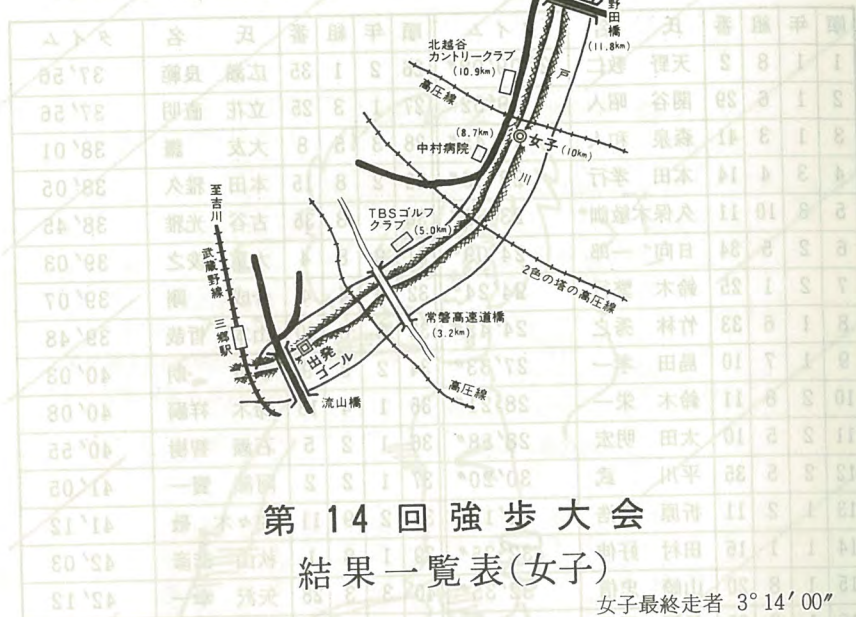
強歩大会。これは本当に、走ったあとの満足感は最高です。距離が長いだけに、私にも走りぬげられるんだ、という実感が大なのです。

来年もヨ・ロ・シ・ク、たのむゾ、若菜体氏ノ



## 強歩大会コース略図

◎ 折返し地点  
◎ 出発・ゴール地点



## 第14回強歩大会

### 結果一覧表(女子)

女子最終走者 3° 14' 00"

順	年	組	番	氏名	タイム	順	年	組	番	氏名	タイム
1	2	2	38	高橋千佳子	1° 34' 20"	16	2	8	25	柿崎美智子	41' 19"
2	1	9	30	木村 麻紀	35' 57"	17	2	10	27	石塚 直美	41' 35"
3	1	7	27	小池 純子	36' 01"	18	1	10	23	浦野 香美	41' 50"
4	1	1	33	高橋 宏恵	36' 46"	19	1	9	39	戸張 範子	42' 43"
5	2	9	27	植村 典代	36' 59"	20	1	7	42	安井優美子	44' 05"
6	1	10	21	新井 恵	37' 01"	21	1	8	31	清水 方代	44' 09"
7	2	10	35	島田 智美	37' 24"	22	1	4	23	秋山百合香	44' 23"
8	2	10	28	岩田 則子	37' 34"	23	2	8	35	鈴木 牧子	44' 33"
9	1	7	41	宮本 菜	37' 36"	24	1	7	40	溝上 隆子	45' 03"
10	2	9	25	和泉まゆり	37' 38"	25	1	9	33	紺野恵美子	45' 23"
11	3	10	40	弦巻 聖子	38' 46"	26	1	9	34	杉山 夏三	45' 24"
12	1	8	22	赤池真由美	39' 00"	27	1	8	41	村上 千絵	45' 28"
13	1	4	36	渋谷由美子	39' 52"	28	1	7	39	松本 弘子	46' 13"
14	1	7	35	保坂みゆき	39' 59"	29	3	8	47	力富 泰子	46' 14"
15	1	10	29	岸 裕子	40' 08"	30	2	4	41	永田有紀子	46' 26"



# ちっぴり★学塾



## 第14回強歩大会

### 結果一覧表(男子)

男子最終走者 5°08'04"

順	年	組	番	氏名	タイム	順	年	組	番	氏名	タイム
1	1	8	2	天野 敦仁	2°09'08"	26	2	1	35	広瀬 良範	37'56
2	1	6	29	関谷 昭人	09'52"	27	1	3	25	立花 直明	37'56
3	1	3	41	森泉 和人	17'45"	28	3	5	8	大友 謙	38'01
4	3	4	14	本田 孝行	23'36"	29	2	8	15	本田 雅久	38'05
5	3	10	11	久保木敏訓	23'59"	30	1	3	35	古谷 光雅	38'45
6	2	5	34	日向 一郎	24'09"	31	2	8	4	大重 俊之	39'03
7	2	1	25	鈴木 繁行	24'24"	32	3	4	4	今成 剛	39'07
8	1	6	33	竹林 秀之	24'43"	33	2	6	20	山本 哲哉	39'48
9	1	7	10	島田 孝一	27'33"	34	2	3	9	萩野 朗	40'03
10	2	8	11	鈴木 栄一	28'21"	35	1	4	13	鈴木 祥嗣	40'08
11	2	5	10	太田 明宏	28'58"	36	1	2	5	石瀬 智樹	40'55
12	2	5	35	平川 武	30'20"	37	1	2	2	阿部 賢一	41'05
13	1	2	11	折原 孝浩	32'13"	38	2	9	11	佐々木 敬	41'12
14	1	1	16	田村 好伸	32'25"	39	1	8	1	秋山 恭彦	42'03
15	1	8	20	山崎 忠信	32'35"	40	3	3	28	矢沢 幸一	42'12
16	1	2	35	長岡 琢己	33'08"	41	3	2	42	福田 宗龍	43'42
17	1	8	7	菊地 孝司	34'39"	42	2	4	5	今井 幸孝	43'54
18	1	3	14	古和田一輝	34'43"	43	2	5	22	斉藤 仁	43'57
19	2	1	12	菊地 靖	35'01"	44	3	5	41	村田 孝夫	44'16
20	1	4	14	関根 伸一	35'36"	45	1	1	7	小田切希芳	45'29
21	1	10	18	馬場 広文	35'50"	46	3	3	3	泉 一成	45'37
22	2	5	27	鈴木 誠	36'38"	47				渡辺 先生	46'00
23	1	3	34	林田 智章	37'06"	48				長本 先生	46'10
24	3	10	12	小松 隆司	37'12"	49	1	1	8	柿沼 秀行	46'35
25	2	2	23	渡辺 孝	37'27"	50	1	8	18	村上 政幸	46'45

ここに載らなかった人たちも

完走した喜びは大きかったはずです。

「人生はマラソンだ」



11/12 (金)	岡	8:00	岡	在来線快速	9:51	尾道	10:15	千光寺公園	14:30	広島	平和公園 原爆資料館 原爆ドーム
	山(宿舎)	7:40	山		8:40	道	10:00		12:00		
			10組	岡山市内(後楽園、岡山城)			11:30				
		7:40							13:02	島	
									11:54	島	
		7:40		吉備路めぐり			11:30	山			

岡山 大都市。日本三大名園の一つ、後楽園がある。  
吉備路は、もう一度行ってみたい。  
尾道 千光寺公園の展望台で、食べた弁当はうまかった。

(ひがしや、さつき荘、宮島館)

広島 島の谷間に見えかくれる原爆ドーム。千羽鶴につつまれた、原爆の子の像。平和を呼び続けようとして心に決めた。

宮島 舟に揺られて宮島へ。大島居よりももみじ饅頭と、しゃもじの方が、印象に残る。もみじ饅頭は1個50円のばら売りを熱いうちに食べるのが最高!!

修学旅行の思い出



# ざ★修学旅行

(修学旅行日程表) 1982年 11月11日~11月15日

11/11 (木)	ひかり 6093号 (1.2.4.5.7.8.9.10組)	14:20	倉敷
	東 8:36	12:57	岡山
	京 13:20	13:30	山
	ひかり 23号 (3.6組)	14:30	敷
	9:00	13:10	山
	倉敷 17:30	岡山	倉敷
	敷 16:30	山	敷
			静かな町並。堀に映える蔵屋敷。大原美術館は日本一のコレクション。
			(石山花壇, 山長)

## 修学旅行

二年四組 松原 功&金子雅美

修学旅行で思い出に残ったのは、何と言ってもお金を落としたことだ。どの辺で落としたのだろう。横には阪急電車が通っていた。そこで僕はサイフを落としたことに気付いたのだが……

僕は青ざめた。これから五日間ルンペンで過ごすのかと思うと、我クラスの○君のように暗くなった。どうも東京駅で生徒会長の大和田君と、四百五十円のそば弁当を食べた時に、落としたらしい。早速、岡山の太陽神戸銀行で金を下ろしたので助かった。

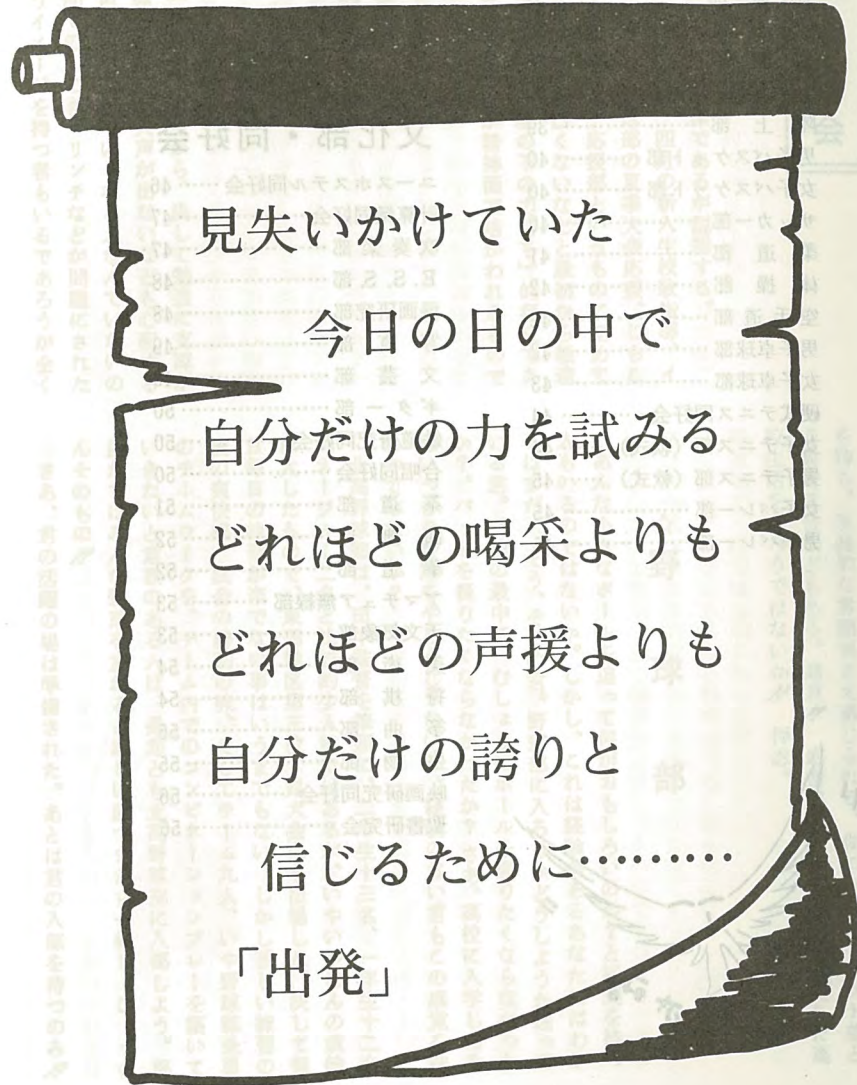
しかしあの二万六千円はどこへ行ったのか。LPが十枚買える。肉の万世で大量の肉が食べられる。伊香保温泉一泊もできる。今、思い出してもいやになる。これから修学旅行へ行く皆さん。お金は分けて持って行くべきだ。落とした時に、落ちこむ度合が違ってくるぞ。

さて、修学旅行と言ったら忘れてはいけないのは、夜。夜はみんなの本性が現れる。伊藤とせんざいは似ている。飯田は菱形だった。けいじはさだまさしが好きで部屋で暗く歌っていた。入野はE・Tを見て涙した。村上はうけなかった。僕は寂しかった。今井はもう一度やり直すと云った。井出は夢を見た。健は鼻がでそうになった。雅美は戦いそうになった。堀はむっとしてダッシュした。池沢はXと言った。大谷はおつとめを五日した。小島は陰湿だ。

以上が修学旅行で暴露されたクラスの実態。四泊五日はあまりに短かった。以上



# 部活動・同好会



11/13 (土)	宮島	山陽本線	10:50	広島	ひかり138号	13:01	姫路	13:30	姫路城
			10:26						
		山陽本線	11:08	島			路	13:15	
			10:43						(写)

姫路城 18:00 京都 15:00 姫路 都 見るだけで疲れる姫路城。記念写真も撮りました。姫路から京都へのバス移動。旅の疲れが出たせいか、眠った姿もちらり、ほらり。

(ハトヤ瑞鳳閣)

11/14 (日)	京都(宿舎)	市内グループ別行動	17:00	京都(宿舎)
	8:00			

京都 まちに待ったグループ行動。紅葉の中の京都は、どことなく落ち着いている。時間はたっぷりあったが、日曜日のため人がたくさん。15日はクラス別行動。

11/15 (月)	京都(宿舎)	クラス別行動(A)	11:40	清水	13:00	京都	ひかり92号	16:44	東京
	7:40			12:45					
		クラス別行動(B)	11:10	嵐山	13:00	京都	13:53		京都
	7:40			12:10					

## 修学旅行の思い出

二年六組 奥村 健一

十一月十一日。この日は四泊五日の修学旅行の始まりである。長時間新幹線に閉じ込められ、岡山に着いたと思ったらまたバスにゆられて倉敷へ。この日は美術館を見学しただけで、あとは移動時間がほとんどであった。

十一月十二日。この日も大変移動時間が長かった。しかしその中で印象に残ったのは、悲劇を物語っていた平和公園。公園では、犬までもがダイ・インをしていた。

十一月十三日。バス、国鉄を利用して京都へ。

十一月十四日。この日はグループ別行動。僕のグループは、三つに分かれてタクシーに乗った。そこまではよかったのだが、嵐山で会うはずだったのがどういいうわけかばらばらになってしまい、グループ行動どころではなかった。その中で嵐山まで行って『チョコQ』を買っているわけのわからないやつもいた。しかし門限の五時には旅館の前で他の人とも会え、旅行の最後の夜をむかえた。

十一月十五日。修学旅行最終日。この日はお寺を見てから、新幹線に乗り東京へ。電車内ではみんな分かれて、ゲームに燃えていた。

### ◎ 修学旅行全体の感想 ◎

移動時間が長いのはまいてしまった。しかし、修学旅行で得られた思い出はとも大きいものだと思う。人それぞれ、いろいろな思い出がこの旅行で刻み込まれたと思うが、それを忘れないでほしい。





### 運動部・同好会

應援部	37
野球部	37
バドミントン部	38
剣道部	38
ソフトボール部	39
陸上部	39
男子バスケット部	40
女子バスケット部	40
サッカー部	40
柔道部	41
体操部	42
空手道部	42
男子卓球部	42
女子卓球部	43
硬式テニス同好会	44
女子テニス部(軟式)	44
男子テニス部(軟式)	45
女子バレー部	45
男子バレー部	45

### 文化部・同好会

ユースホステル同好会	46
計算機同好会	47
吹奏楽部	47
E. S. S.部	48
漫画研究部	48
写真部	49
文芸部	49
ギター部	50
鉄道研究同好会	50
合唱同好会	50
茶道部	51
演劇部	52
華道部	52
アマチュア無線部	53
天文気象部	53
美術部	54
将棋部	54
箏曲部	55
生物部	55
映画研究同好会	56
聖書研究会	56



## 運動部・同好会

### ☆應援部

押忍！我々北高応援部について簡潔であるが説明する。  
 まず昨年の主な活動を挙げてみると、四月の新入生校歌指導、インターハイ・関東大会等の壮行会、野球部の夏季大会応援、しらべと祭、予餞会への参加などがあった。応援部というものに初めてお目にかかるものには興味がない、面白くないなどと最初から敬遠されがちであるが、応援部とは元来「縁の下の力持ち」的存在であり、それだけ無形の財産といったものが精神面で培かれるものである。

- では一週間の練習内容を挙げてみる。
- 〔月レパートリー(応援実技)〕
- 火 補強(体力増強の為の基礎訓練)
- 水 レパートリー
- 木 補強
- 金 必修のみ
- 土 補強

以上である。時間も約一時間半であるから、決して勉強に支障が生じることはない。また体力がない、大声が出ないなども心配する必要はない、最初から大声を張り上げていられる人なんていないのだから。以前大学の応援団でのしごき、リンチなどが問題にされたので、「怖い」などというイメージを持つ者もいるであろうが全く

### ☆野球部

そのような事はない。それどころか部員が皆、ユニークすぎる個性を持ち、家庭的な雰囲気さえ感じられる。他にお茶会、ソフト部との親善試合などもある。諸君！応援部に入って、俱に充実した高校生活を送ろうではないか！ 押忍。

あんな小さなボールを追って何がおもしろいのか？と疑問を持つ人もいのではないか。しかし、これは経験があるあなたにはわかるとは？そう、その君。野球部に入ろうかどうしようか迷っている君。受験の最中に、むしろにボールを握りたくならなかったか？。バットを振りたくならなかったか？さあ、高校に入学した今思いっきり野球をやろうじゃないか。経験のない君もこの感覚を味わってみたいか？

北高野球部は、田中監督を筆頭に、二年生十三名、一年生十二名マネージャー二名と比較的少人数ではあるが、いやいやなんの成績は大したもので、東部地区第三位、県大会にも出場した。決して毎日毎日の練習が楽でない事はいまでもない。しかし苦しい練習の後の爽快感、試合の勝利の味、そしてチーム九人、いや野球部全員のチームワークを、チーム内でのコンビネーションプレーを築いていきたいと意欲のある人は、是非とも北高野球部に入部しよう。部員たちはみんな野球を放れると嬉しい顔つきから一転し、ひょうきんそのもの！

さあ、君の活躍の場は準備された。あとは君の入部を待つのみ！



## ☆バドミントン部

バドミントンという「軟弱なスポーツ」と思われがちですが、中身はどうしてどうして……。

そう、大変激しいスポーツなのであります。道端でやる羽根つきとは違うのです。約七メートル×六メートルのコートを試合の始めから終りまでずっと走り回るので。どうです、少しは理解していただけましたか？

それでは男子バドミントン部の紹介をします。(男女合わせて一つの部になっていますが、練習は別々なのです)

二年生七名、一年生十名、計十七名で活動しています。練習は、月曜から土曜の放課後ということになっていますが、朝練を行なう事もあります。一年生の前半のうちは補強を主体としたもので、その後、基本ストローク、フットワークなどが入ってきます。

毎年はじめのうちは二十名〜三十名いるのですが、最終的には先程紹介したような数になります。しかし「やる気」さえあれば、乗り越えることは可能です。我が部ではやる気ある、若さあふれる諸君を求めます！

ちなみに昨年度の成績は、県大出場ダブルス一組(二回戦敗退)

## ☆剣道部

我々剣道部は、総勢十七人、田村先生の下で練習をしています。

## ☆ソフトボール部

こんにちは！ソフト部であります。

皆さんは、これから始まる高校生活に何をかけますか？  
せっかく北高に入れたのだから勉強に燃えるのもいいのですが、やはり部活なしには、高校生活は語れないでしょう。

現在ソフト部は、二年生六名、一年生五名、顧問の先生二名で成り立っています。部員数十一名では満足のいく練習もなかなか出来ないのですが、そこはチームワークでカバーしています。しかし私達が引退となると残るのは五名。知ってるの通り、ソフトのレギュラーは九名ですので、こればかりはチームワークで、という訳にはいきません。そこでソフト部は何としても、新入生の力が必要なのです。

練習は、月々土までの放課後で日曜日は試合前や練習試合の時以外は、だいたい休みです。一年生は最初にキャッチボール、バッティング等の基礎をしっかりさせてから、すぐ私達と一緒に練習することになります。

「私、ソフトボールやったことないから……。」と言う方、安心して来て下さい。今の一、二年生にも初心者だった人はたくさんいます。(実は、これを書いている私もその一人です。)ここまで読んでどうしようかなと迷っている人は、気軽にソフト部まで足をお運び下さい。優しい先輩がお待ちしております。

マネージャーならという方もどうぞ。

よろしく。

練習はいつも防具をつけ、二試合場分のスペースのある格技場で、

男女共に練習しています。そのせいか、女子は一人を除いては全員初心者ではあったのですが、皆有段者、もしくは有段者同様の実力を今は持っています。むろん男子の方も、女子と同じ練習ではあります。各自の自覚、そして努力によって充実した練習をしています。また東部地区大会、県大会などの前には、他校との合同練習、及び練習試合も行います。

多くの先輩方に、高校生活の思い出として一番に残っている事は、と聞くと、心ず返ってくるのが「部活」のことです。あの時の試合に勝って嬉しかったとか、肝心な時に負けてしまったのがまだくやしいとか、あの合宿は、本当に生き地獄だったよとか……。

高校時代||部活では少しおかげさかもしれませんが、それくらい大切なことだと信じ、我々剣道部は練習に励んでいます。三年間に培われる練習による忍耐力、先輩後輩によって学びとる人間関係というものは生活(家庭・学校)、人格と共に向上し、また社会に出ても必ず役立ちます。

真剣に練習する以上、毎日が厳しく、またつらいかもしれませんが、苦しみの裏にかくされていた、スポーツ(武道)の楽しみというのがわかるのではないのでしょうか。



## ☆陸上部

我々陸上部は、二年生六人、一年生十一人、マネージャー三人の構成です。練習は月曜日から土曜日です。

「走ってるだけで面白い？」と、よく我々部員は聞かれますが、その走るという単純な動作をより速くより力強くするために、我々は練習しています。そして毎日毎日鍛え、その中で自分自身で作上げたものを、試合に出してみませんか？

先輩達も、大変面白い人達で、人間関係もとてもなごやかです。そして、とてもまとまりがあります。

確かに練習は苦しい時もあります。夏の強化合宿での練習、真冬の補強トレーニング、といろいろありますが、これをやるか、やらないかは本人のやる気次第でどうにでもなります。そこで養われた根性と精神力は、近い将来に役立つでしょう。

体力の有無は問いません。ただやる気のある人を望みます。さああなたも陸上を通じていろいろな事を学びましょう。





## ☆男子バスケット部

我々男子バスケット部は、二年生四人、一年生十一人、マネージャー一人の計十六名で、OBの先輩方の指導を仰ぎながら、毎日練習に励んでいます。練習は、放課後体育館が使えない月曜日と木曜日には朝練(体育館、七時半〜八時半)と、放課後の外練(ランニングと補強中心に一時間位)を行って基礎体力をつけるのに励んでいます。体育館の使える日には基本的な練習から試合形式の練習まで内容に富んだ練習をしています。練習中でもジョークや笑いがおき、チームワークは抜群です。特に苦しい練習のときは、周りの人達が声を出して盛り上げ、みんなの夢に向かって頑張っています。

現在の最大の難点は、二年生が少なく、一年生が先輩のプレーを見て学ぶということがあまりできないことにあります。しかし、一年生同士、ライバル意識をムキ出しにして、レギュラーは試合の度に変わっている状態です。とにかく若いチームなので新一年生の諸君も頑張り次第です。レギュラーになることができるかもしれません。また、我が越谷北高には、一学期ごとに球技大会(バスケットは必修)があり、目立って、少ない女子からでも起こうけあいです。さあ、新一年生の諸君、バスケット部に入って女子にもよう、期待しています。マネージャーも是非入って下さい。



練習は月曜日から土曜日までの放課後、月に二・三回の練習試合をしています。昨年度の主な戦績は、

。東部地区春季大会優勝

。学徒大会

一次予選

一回戦 シード

三回戦 対深谷 1-0

三回戦 対福岡 2-0

四回戦 私立越生 1-0

四回戦 対大宮工業 0-0 (PK勝ちベスト8進出)

五回戦 対浦和南 0-1 (二次予選へ)

二次予選

対春日部工業 4-2 対浦和南 1-3

。全国大会一次予選

対小鹿野 7-0 対所沢商業 4-0

決勝 対埼玉栄 1-0

。同二次予選

対与野4-0 対浦和南 1-4 (ベスト8止まり)

以上のような素晴らしい成績が残せたのは「練習で泣いて試合で笑え」という顧問の宗村先生の厳しい毎日の練習に耐えたたまものであり、またチーム一丸となって勝利への執念を持ち続けたことだと思えます。我々は先輩方の築いて下さった伝統を誇りとしより一層の飛躍を目指し、日々練習に励んでいます。



## ☆女子バスケット部

こんにちは、私達女子バスケット部は、二年生四名、一年生二名マネージャー二名の計八名で、少ない人数ではありますが、毎日一生懸命練習に励んでいます。

今は、春の学徒大会に向けて頑張っています。練習は、良いOBの先輩方と共に、基礎体力をつけることや、個人プレーをみがく事に走る事です。決して楽な練習ではありませんが、ひとつのプレーをマスターした時や、シュートが決った時、練習が終った後は充実感に満ち、何とも言えない最高の気分になります。

また我が部は、先輩後輩の仲が良く、練習中でも部室でも、冗談や笑いは絶えません。ですから、チームワークは最高です。

そして、良き先輩方の御指導のもとで、私達は「県大出場」を目指しています。

さあ、一年生のみなさん、一本シュートを決めてみませんか？私達と共に目標を実現させていきましょう。なお、バスケットは好きだけどプレーヤーはちょっと...と思っている人、是非マネージャーとして頑張ってみてはいかがでしょう？

## ☆サッカー部

我々サッカー部は現在、二年生十四名、一年生二十名、女子マネージャー四名、計三十八名で活動している、大変活気にあふれた部です。

## ☆柔道部

三年生の先輩方々、大へんごころう様でした。先輩方と先生の熱心な御指導のおかげで、我々は強く、たくましく、精神的にも立派(?)になりました。心から感謝いたします。

ところで、一年生のその君、君だよ、ほら、あんただってば、としつこく言っても仕方がないこともないけど一応この辺にする。

君達は高校に入ったのだから部活に入るべきだ。ベストとは言わないが、ベターである。これはこの私が保障する、部活に入るのであるならば、運動部がよろしい。それでは運動部に入った時のメリットを君達のために書いてあげよう。その一、体力がつけば、体育の時も気になることはあまりない、勉強するにしても体力があれば、長つづきする。ついでに根性もつく。その二、何か災難にあった時、どうにか切りぬけることができる。そこで柔道部が出てくる。もしだれかにかまれた時、切りぬけるのは訳ない。しかし普段はそういう使い方をしてはいけない。普段から柔道技を使うような人は根性がくさっている。そういうくさった根性を作らないようには、日本武道の柔道が最高である。そういう理由で君は今日から柔道部だ。初心者も先生、先輩の、やさしく、わかりやすく、熱心な指導のもとにまじめについてくれば、黒帯ぐらいなんのそのって感じだとれる。ここまで読めば君はもう柔道部に入る気になってしまったらう？ ちなみに、日曜、祭日はナシ。それでは格技室で待つ。



## ☆体操部

体操部のことを紹介してほしいといわれたので、こうしてペンをとった訳ですが、我が部は男子二名女子四名、顧問は山口先生、石川先生といったベテランの先生のもとで活動しています。

体操といったら皆さんは、あのコマネチや、日本では、加納弥生、森尾麻衣子といった選手を思い浮かべて、華麗だとか、人間技ではないなんて思ったりしますね。そして、自分は体が固いからと敬遠されがちですね。でもそんな事はないのですよ。

もちろん突然「宙返りをやれ」といわれたら誰でも困ってしまわうでしょうが、どんな立派な選手も段階をふんで、少しずつ上達していくのです。中学の時にマットや平均台や飛び箱をやった事と思います。決してできない事ではなかったでしょう。

それに体操というのは、すべての運動の基本なのです。柔軟性や瞬発力その他いろいろ、運動をするにあたっての基本型が、ばっちり含まれているのです。

まあ固いことはこれくらいにして、「あなたも三次元空間で、おどってみませんか」



## ☆空手道部

みなさん、こんにちは。空手道部です。

みなさんはこれから高校生活を経て、大学あるいは社会へと人生

を送るために、カーテンをして行われます。しかし、このスポーツは思っているより激しいもので、あんな小さなボールを追いかけて、打ち返すのだから、瞬発力や反射神経、持久力も必要になってきます。特に、精神面の疲労は、大へんなのです。

我々男子卓球部は、三年生十名、二年生五名の計十五名で練習に励んでいます。練習は、月曜から土曜で、一日、二〜三時間です。内容としては、フォア打ちから始まり、フットワークを中心とした基本練習が中心ですが、試合が近くなると、ゲーム練習を多く設けたりしています。又、自分の弱点を補うための課題練習などや、スマッシュ練習、それに体力向上のために、サーキットトレーニングなども取り入れています。昨年の主な試合と戦績を紹介しますと、

五月 東部地区大会（個人、県大会出場、ダブルス三回戦）

六月 県大会

八月 東部新人戦（団体 ベスト8）

十月 団体予選

一月 インターハイ予

選（三回戦）

東部地区県大予

選（個人 ダブ

ル）

我々と共に活動するやる気

のある者を望んでいます。

女子マネージャー募集



## ☆女子卓球部

青春とは何だろう。自らの若さと情熱で何かに思いっきりぶつかることではないだろうか。しかし、ぶつかるものが問題である。思わずそこらの道行く車などぶつかってもまるで痛いのである。

そこで頭の良い健康的な新入生の皆さんにお勧めしたいのが、卓球部に入ることである。卓球というと剣道と同じくらいスポーツと言われているが、全くそんなことはない。ちなみに、剣道部の一部員がこうして筆をとっているのも剣道部と女子卓球部とは、モップを通じての友情のためで、そこには暗さなどみちみもない。その上部内は和気あいあい、ここには忘れられつつある青春、友情——森田健作の世界が十年の月日を経て息づいているのである。

「卓球部でうまくやっていると、誰かが思っています。しかし心配御無用、あのスマッシュ、スマッシュの応酬を見ると、抜群の反射神経を要すると思いがちだが、そんなことはない。自転車に乗れる人なら、十二分にPLAYSできます。又、高校に来て初めて卓球をやるのか、という人。御安心下さい。実際二年五人中四人、一年四人中二人は初心者ですし、試合で経験者を尻目に初心者勝ち進んでいくことも珍しくないのです。

申し遅れましたが、現在部員九名、毎日卓球場と体育館の二Fで練習しております。主に晴れた日にOBが来たりしてね。スポーツに没頭できるのは、高校時代が最後です。高校入学を機会にスポーツをはじめたいと思う方、又中学からの方ももちろん、熱い青春を感じに格技室となりの卓球場に、是非いらして下さい。

を歩んで行くわけですが、とにかく人生には困難なことが多いのです。人生を生き抜いていくのに最も重要なことは何でしょうか。それは「強さ」です。肉体的な強さはもちろんですが、精神的な強さが大切なのです。どんな時にも、落ち込まずに、明るく笑って生きられるたくましさ、これからの世の中を生きていく上で、最も力強い武器になるのです。

だいたい今の世の中では、一体何が起るかわかりません。今日幸福な人が明日はどうなっているかわかりません。みなさんもこんな激動の時代を明るく生きられる強さを身につけたいならば、是非空手道をやりましょう。

空手道は、肉体はもちろん、精神の鍛錬に重点をおいた武道なので、三年間で心身ともにひとまわり大きな人間になれるでしょう。

また空手道とは自己の精神の修行ですから、決して超人的な体力は必要ありません。毎日の練習とたゆみない向上心さえあれば、どんな人でも強くなれます。

これからの時代をサバイバルしていかけるのは強い者だけです。

さあ、皆さんも、和道流空手道をやりましょう。

尚、現在における部員数

二年生：五人 三年生：十一人

## ☆男子卓球部

「卓球」というと「暗い」と感じる人が多いようですが、現にユニホームは、白のものは禁じられ、試合や練習の時なども光をさえ



## ☆硬式テニス同好会

我々硬式テニス同好会は、日曜日を除く毎日、バレーコートに二面借りて練習を行っています。男子二十一人、一年十三人、女子二年四人、一年十一人で男女別に練習を行っています。この大人数で二面というのは少しせまいのですが、補強などを加えながら、乱打・ストローク・サーブ・ボレーなど基本練習を中心に行って、土曜にはダブルスをやることもあります。一年生は補強が中心です。では昨年の戦績を報告します。

春季大会(九月)

個人シングルス 金田 東部地区大会V2、県大会優勝

関東大会、インターハイ出場

団体 二回戦 敗退

新人戦

個人(九月) シングルス 金田 千葉県大会出場(金田・地

基本練習は中心にダブルスを金田・千葉組 県大会ベスト8

団体(十一月) 一回戦 対深谷第一 3-0 二回戦 対本庄 3-1 2-3 三回戦 対浦和北 2-1 3-1 正々堂練習

練習は、月曜と金曜までは、午後三時四十分〜暗くなるまで、土曜は午後二時〜五時、日曜祝日は、午前九時〜午後四時までと毎日行っています。

五十七年度の戦績は以下の通りです。

東部新人大会 団体戦 三位

東部新人大会 個人戦 三位(八田・森山組)

夏季東部リーグ戦 三位

新人戦県大会 団体戦 ベスト16

近県テニス大会 個人戦 ベスト8(渡辺・堀中組)

いつも笑いの絶えない楽しい部です。入部希望の人はテニスコート、もしくは男子テニス部の部室まで来て下さい。

## ☆男子テニス部(軟式)

こんにちは、男子テニス部です。現在我々は、試合に勝つことを目標に毎日汗を流しています。部員数は二年十名、一年十一名で、顧問は内田先生と木村先生です。

練習は、月曜と金曜までは、午後三時四十分〜暗くなるまで、土曜は午後二時〜五時、日曜祝日は、午前九時〜午後四時までと毎日行っています。

五十七年度の戦績は以下の通りです。

東部新人大会 団体戦 三位

東部新人大会 個人戦 三位(八田・森山組)

夏季東部リーグ戦 三位

新人戦県大会 団体戦 ベスト16

近県テニス大会 個人戦 ベスト8(渡辺・堀中組)

いつも笑いの絶えない楽しい部です。入部希望の人はテニスコート、もしくは男子テニス部の部室まで来て下さい。

## ☆女子バレー部

我が女子バレー部は二年生三人、一年生十一人の計十四人です。

練習内容

月：体育館に於いてボールを使った基本練習

火：(補強)

## ☆女子テニス部(軟式)

私達女子テニス部は、現在二年生十一名、一年生八名、計十九名、それに、倉持・小林両先生の顧問のもとで活動しています。マネージャーは例年どおり、部員の中の二年生が兼ねて行っています。

屋外コート二面を使い、ほとんど毎日、日没まで練習に励んでいます。雨の日には室内で補強等を行ない、基礎体力の増進に心がけています。

試合の多い春から夏は、かなり練習がきついときもありますが、真夏の太陽のもとで、活動できるだけの体力を日没の早い冬につけるよう、鍛えています。

他の部に比べ、活動時間も長くなりますが、それなりに、充実性だけは負けないつもりです。

今は、引退なされた先輩方を目標に、恩返しのため、少しでもよい試合ができるように頑張ろうと、ボールを追う毎日です。

最後に、五十七年三月からの主な戦績を紹介しておきます。

春季東部リーグ戦 団体戦 一位・二位

秋季東部リーグ戦 団体戦 一位・四位

新人戦県大会出場

団体予戦二次トーナメント出場(三須・高橋組)

水：外に於いて補強等

木：体育館に於いてボール使用

金：外に於いて基礎、補強

土・日：体育館に於いて総合練習

またこの他に朝練、昼練もあり、練習量はかなりあるといえます。特長としては、私達は低身長のため、これをカバーするために、レシーブなど守りの方にポイントを置いていきます。攻撃では種類はさほど多くはありませんが、皆全員がどのポジションも、オールラウンドにこなせるように練習しています。

私達の最大の目標は県大出場です。過去何回か出場してはいますが、これからも自分達で出場権を得ようと、OBのコーチの方の指導のもとに、毎日練習に励んでいます。女子バレー部はこれからのと伸びるチームです。

## ☆男子バレー部

我々男子バレー部は、文武両道・質実剛健・自主の学びや・臥薪嘗胆を先代からひきつぎ、教訓として掲げ練習に励んでいます。部の構成は一年生十五名、二年生五名、マネージャー二名であります。顧問は、大貫先生と野沢先生であります。

それは、我々の代の今日までを振り返ってみます。

七月 先代引退

八月 夏季合宿

十月 一年生大会

同刊会



十二月 新人戦第一次予選  
一月 新人戦第二次予選  
となっております。

一昨年、昨年と、連続して念願の関東大会出場を果たし、今年もそれにひき続くべく関東大会出場を最大の目標として、日々の練習に励もうと思えます。また部員一人一人が自覚を持ち、自分の役割を果たし、常日頃、精神的肉体的向上をはかり、チーム全体で物事にぶつかっていく事をモットーとしています。

今のチームは、先代に比べ、高さ、アタック力の点で難がありませんが、これを大貫先生、野沢先生、そして数多くのOBの先輩方の御指導のもとに、克服し、是非とも目標を達成したいと思います。



鬼千モニス暗(輝左)

緒に旅をしてみませんか？

### ☆ 計算機同好会

けたたましいベルが鳴る。スクランブルだ。「また来やがったか。」俺達は全員ファイターに乗り込む。敵は密集体型をとって突っ込んできた。「フォーメーションAで迎撃しろ。」チーフが叫ぶ。数百機に及ぶ敵が視野に入ったかと思うとあたりは銃弾のあらしになった。後方で爆発音が轟き三番機が炎上した。ヒデが殺られた。「後ろにまわり込まれたらおしまいだ。後方監視リーダーに注意しろ。」俺は自分に言い聞かせた。「俺につづけ！」チーフの叫びと共に隊長機のアフターバーナーが鋭く光り、みるみるうちに加速する。俺も負けてはいられない。チーフにつづいて敵の本隊に突っ込む。ケンが敵の弾をまともに受けてあとかたもなく消し飛んだ。チーフの無線が入る。「十一時の方向にマザーシップが……」ノイズが入るだけでもうなんとも言っていない。チーフのミナミも殺られた。怖い。ここは戦場なのだと感じる俺の前に敵機が現れる。震える手でAuto Aimのスイッチを入れた。「Friel」次の瞬間敵はくだけ散る。「マザーシップだ。」俺は叫んだ。と、その瞬間俺は閃光につつまれて衝撃を受けた。生命維持装置はレッドを示している。「もうだめだ……」俺は絶叫し放尿した。「俺はここで死ぬのか。いや死ぬわけにはいかない……ああ、静かだ。」俺の機内には死んでいった仲間達が、一人二人と浮かんで消えてゆく。遠くで無線が叫んでいる。たぶんホクトからだろう。も

### 文化部・同好会

#### ☆ ユースホステル同好会

この同好会を一言でいうならば「旅をする同好会」です。皆さんの中にも知っている人がいると思いますが、ユースホステルとは、若者が利用する宿泊施設であり、ここを利用しての旅行には数々の魅力があります。

まず第一に、宿泊料金がとても安いことです。全国各地、世界各地にあるユースホステルは、主に若者が利用することもあり、一泊二食付で二千五百円〜三千円弱です。本当に安いでしょう。

第二に、今まで顔も見なかった人達ともすぐに友達同志になれることです。どこのユースホステルでも夕食後にミーティングが開かれます。ミーティングといっても固いものではなく、そのユースホステルに泊っている人全員やペアレントさん(ユースホステルの管理人、旅先での親代り)、ヘルパーさん(ペアレントさんを補佐する人)達と一緒にゲームをしたり、大声で歌を唱ったりするのは。だから「ハンド・イン・ハンド」の輪が広がっていくのです。旅は楽しいものです。旅は素敵なものです。あなたもきつこのユースホステル同好会に入れば、そう思うにちがいありません。旅が好きなら、また旅をしてみたいと思っている人、この同好会に入ってみませんか？ユースホステルに泊ってみませんか？私達ユースホステル同好会は温かなムードのある楽しいクラブです。きつとあなたもそう思うことでしょう。ユースホステル同好会に入って、一

う答える気力もない。そしてむなしさだけが心の中に渦まいている。ああ死にたくない、こんな俺をかわいそうだと思ったら、計算機同好会に入ってくれ。「計算機同好会をヨロシク。」と叫び、俺は深い闇に落ちていった。

### ☆ 吹奏楽部

我が吹奏楽部は、専門の指導者こそいませんが、生徒指揮者によって、顧問の横井先生、三浦先生を中心に「北高独特の吹奏楽」を目指しています。

また部員もかなり増え、今、男子二十九名、女子三十四名、計六十三名という大所帯で、練習する場所にも困っていたのですが、昨年度は練習場も造っていただき、日々練習に励んでいます。

年間の行事予定は次の通りです。

- 四月 入学式
- 五月 定期演奏会「憩素芸術」
- 六月 東部地区演奏会
- 八月 吹奏楽コンクール
- 九月 しらこぼと祭・体育祭
- 二月 予餞会
- 三月 卒業式・一年生説明会



この他にもいろいろ活動しています。経験者はもちろん、これから始めようとする人も、やる気さえあれば大丈夫です。吹奏楽に興味のある人、私達と共に吹奏楽の楽しみを味わってみませんか。



## ☆ E・S・S部

E・S・Sは名前のとおり英語の部です。別名「えっささ」と呼ばれています。部員は十五名。活動は、主にタイプライターの練習、そして三、四ヶ月に一度、英字新聞の発行なのです。ほかにスクランブルゲームというのをやっています。テープレコーダーが新しくなりテープ教材も使えるようになりました。

年間行事、といっても英語の部だけに特別なものですが、大きな行事はやはり文化祭。去年もみんながまとまってよかったと思っています。文化祭当日、台風がやってきて、いつもの僕なら血がさわいで喜んでしまうのに、さすがにこの日はうんざりしてしまいました。他の行事に、英語劇発表大会見学というのがあって、他の高校の英語部の劇を見学できます。僕としてはE・S・Sもそれに出場して欲しいのですが、今はできないようです。年間行事はこの位です。

月曜日木曜までの放課後、生物講義室でやっています。やる気のある方いらして下さい。そうじ用具入れの上にジャイアントロボのブロンズ粘土像が立っているので、部屋に入ったついでに、不滅のヒーローに拍手して下さい。

## ☆ 漫画研究部

「くそおっなんてこった！」大田貴は、一生の後悔の刃によって瞬時に全身を切り烈かれたような、激しい痛みを感じてはっとした。

## ☆ 写真部

現在、二年生八人、一年生五人、計十三人で活動しています。今年一年の活動内容は、五月に新入生歓迎の撮影会、八月に夏期合宿を行い、毎月一度の月例フォト・コンテストを実施しています。我が部の最大のイベントは、なんといっても文化祭の写真展です。今年からカラーの部を作り、なかなか好評でした。モノクロの部も充実しており、カラー、モノクロ、合わせて一四七枚を数えています。スライド映写は時間制にし、説明付きで上映しました。

普段の活動は個人単位で行われ、部員が全部集まるのは金曜日のクラブの時間と土曜日のミーティングだけです。部員の写真に対する意気込みはすごく、まったく異常な程です。

これからの活動予定として、四月に部創立以来初の試みである、校外写真展を計画しています。日時、場所は後程お知らせ致しますので、皆さんお誘い合わせの上御覧下さい。



彼は立ちあがると、次の行動に移った。走り出したのだ。彼は腕を大きくふりあげた。彼の全身から血のじんだ汗がしみ出た。大きく口を開け、横隔膜のひきちぎれる程肺に空気を吹き込み、一度にその空気を肺から吹き出した。風船のにぶくしぼんでゆく音が聞こえた。風船は再び空気を吹き込み、声帯を震わせた。

「なぜ！なぜオレは！何で！」はかなくも吐き出された空気はそこできてしまった。彼は声を出すことに疲れたかのように何度か小さな呼吸を続けた。二本の足は前へ体を進ませることを拒まなかった。汗はまだ血を放出させている。彼は声を放出することもやめなかった。再び叫んだ。

「何で忘れていたんだ！こんな、こんなことを！」彼は足を思いっきり曲げて跳躍した。その反動を使って、どすんと地に倒れ、あお向けになったまま空気のおいをかいだ。汗は、走ることをやめたために血を流すことをやめた。そのまま皮膚は乾いていった。

「こんなに……永い道がこんな目の前にあったのに、なぜ走らなかつたのだ……今まで……なぜ……」彼は乾いた皮膚の上に涙の小川を流した。道の遠くに何かがあるのが目にぼろっと写った。化石と化した体は動くのをやめた。大田貴よ、どうしたというのだ。おまえは再び動き出すのか、そして立ち上がって走り出すのか……それとも眠りについたまま、永劫の時を過ごすのか……。

☆さあ、みんな漫画研究部に入部しよう。知的興奮と野性の面があふれ出す、夢と期待への冒険が、みんなを待っている。つらい時も、悲しい時も、みんな漫研だよ。さあ、みんな漫研へ入ろう。

## ☆ 文芸部

我々は越谷北高文芸部である。そんなこと言われなくなつてわかつてら！と言われそうだが、ちょっと、考えて頂きたいことがある。文芸部、文芸部というけれど、「文芸」というのは、そもそも何なのであろう。「文章の藝術」の短縮型と、どなたかが昔言っていたがでは、「文章の藝術」とは、どんなものなのか。あれ？かなり堅苦しいオープニングになってしまいましたね。では肩の力を脱いで、我輩の話をちょっと聞いて下さい。約二年間、文芸部に所属していますが、事あるごとに、「よく文章なんて書けるね。」と言われます。でもそう言われると、かえってこちらは小さくなってしまいます。我々だって、そんな立派な文章を書いている訳ではないのですから。ただ「書きたい」という心と、「そこらう原紙があるから」書いているだけです。

毎日かかさず日記をつけているあなた。自分の気持ちを文章に表してみたいとは思いませんか？「あいつに負けた、チクショー！」と頭にくっている君。男なら、その気持ちを胸の中に閉じ込めるな。「バカヤロー」と書いたその一行が、それで立派な藝術なのです。感動のある所に「文芸」があり、人間のいる所に「文芸」があるのです。

高校生活三年間、何も残さないで終わるなんてむないことです。半永久的に残る思い出を作ませんか？文芸部の雑誌は「人間（ひとま）」あなたの思い出のこもった雑誌を一緒に作りませんか？待っています。



## ☆ギター部

こんにちは、ギター部です。我がギター部は、フォークギターでニューミュージックやポップス、もちろんフォークなどできる限りの音楽をやっています。エレキギターでは、ある程度の音しか出せないところがありますが、フォークギターの場合は、弾く人の感情などで、微妙に音が変わる楽器ではないかと思っています。ですから、エレキギターだけしか弾けないという方、そしてフォークギターの好きな方、どちらも歓迎しますので、是非一度見に来て下さい。

ギター部の主な活動を紹介しますと、まず第一に文化祭のための夏の合宿があります。運動部に比べると、疲れも違うと思いますが結構きついものです。そして年に四回あるコンサート。これは普通のバンドだけでは味わえないステージをふめます。ですから、まだギター部のコンサートを一度も見ない方は、是非見に来て下さい。新入生は、見学だけでもいいので見に来て下さい。

活動場所と時間は次のとおりです。

月・水・金：一年九・十組 木・土：社会科室

時間はいづれも、放課後二時間、土曜日は三時間で。

## ☆鉄道研究同好会

我々、鉄道研究同好会は、現在、顧問の荒井先生を中心に、会員十七名で活動しております。各会員それぞれ、鉄道写真を楽しむ者、

無名団体として活動を始めたのが二年前、昨年同好会として認められ、現在男子六名、女子七名、その他。少人数ですが、本格的な合唱を目指し、先生の御指導を受けつつ、日夜練習に励んでいます。

活動は、毎日の練習の他、文化祭参加、ピアノ・ギターの独奏などを交えたコンサートを年に何回か行っています。

練習内容を簡単に説明すると、まず発声練習——ピアノを囲み、こづき合いながら正しい呼吸・発声法を基本から学びます。これがいやがる人もいますが、様々な曲を歌いこなすための基礎となるもので、非常に大切といえます。といっても心配いりません。毎日しっかりやれば、自然と身につけてきます。次にパート練習——ソプラノ、アルト、テナ、バスとそれぞれに分かれて練習します。譜読み、音とりから始まり、皆笑顔を絶やさず、しまいにひきつりながら熱心に自分のパートに取り組みます。最後に全体練習——再びピアノのまわりに集まり、パート練習の成果を発揮。合唱をひきたてるかぶちこわすか、二つに一つ。一人一人が責任重大です。ハーモニが重なり合う一瞬、合唱の楽しさがわかります。細かい箇所に注意しながら、曲は完成へと——。

歌うということは、一種の自己表現だと思っています。一つの歌、その詩と曲にこめられた「何か」を感じ、それを自分の内に感応させながら歌う——人の心に「何か」が届くように、響くように。合唱が創るハーモニーは、まさしく「妙」といえます。より豊かな「妙」を創り出すために、私達は今、人を必要としています。

月火水金の放課後、音楽室で意欲ある新入部員を心よりお待ちしております。

鉄道模型を楽しむ者、旅行を楽しむ者などがおります。

鉄研というと、何もしていないとか、模型で遊んでばかりいると言われておりますので、ちょっと活動内容を紹介します。

- ① レイアウト・模型の製作。今年は、超巨大レイアウト製作、また模型の製作では『鉄道模型趣味』に三ページの記事を書いた人間がおります。これは文化祭に出品。
- ② 写真の現像。生物部の御好意により実現。
- ③ 旅行、鉄研夏の大旅行と銘打って、三班に分かれ、東北・北陸・信州に行き、それぞれ、写真撮影・下車印・入場券集収・観光などを行いました。

- ④ 撮影・見学会。小規模な撮影会を数回行い、また、見学会は春日部検修区・高崎機関区を予定しております。
- ⑤ 調査・研究。テーマを決め各人で行います。
- ⑥ 会誌発行。年一回、鉄研会誌「はつかり5号」を発行します。

その時前述の研究の結果発表。

という訳でざっと鉄研の活動内容を列記してみました。最後に、鉄道の好きな人、旅行の好きな人は是非鉄研へ。



## ☆合唱同好会

岸辺に友と森ヶ崎  
特別棟四階のすみっこの一室が、私達合唱同好会のすみかです。

## ☆茶道部

こんにちは、茶道部です。北高の地下街といわれる、特別棟一階の作法室で週二回活動しているのを知ってますか。何度か無料、あくまでも無料のお茶会を開いたりしたので、昨年よりも名が知られているとは思いますが。では少し我が部の様子を紹介します。

活動は火曜と金曜の週二回。金曜日は必クラからずと続けてやっています。活動内容ですが、御点前の御稽古が主体で、それ以外に、お茶会のための御給仕の練習などもしています。お茶会は文化祭を中心として各学期に一、二回行っています。

北高生の中には、茶道部は部活の度にお茶を飲み、お菓子を食べていると誤解している人が多いようですが、私達がお茶を飲むのは学期中に行うお茶会と文化祭、それから各学期の最後の部活の時だけです。ですから茶道はやりたいけど和菓子はチョットと、という方でも大丈夫です。参考までに、流派は大日本茶道学会です。流派といってもこだわることはありませんので、気にしないで一緒にやってみましょう。

一緒に、古典芸能である茶道を学んでみようという方は、是非入部して下さい。ただ今部員十七名。百多女子です。(でも必クラには男子が二名いるんですよ。)男子の入部も大歓迎です。千利休だって男ではありませんか。とにかく一度気軽に遊びに来て下さい。お待ちしています。これからも、より深く茶道を学び、またそのよさを皆さんに知っていただくために、お茶会を開いていこうと思っています。



## ☆演劇部

なのだから……。

演劇部 森優介

## ☆華道部

みなさんこんにちは。華道部です。皆さんは、華道なんて興味がないのではないのでしょうか。確かに華道は、スポーツや音楽などに比べて、つまらないかもしれません。しかし、それらとはまた違った別の楽しさが味わえるのです。思っているよりもっと奥行きのあるものなのです。造花ではなく、生きた花にじかに触れることによって、人の心は安らぎ、感動を覚えるのです。それに加えて、ただ花をながめるだけでなく、実際に自分の手で生けてみると、今までにも増して、花の美しさがわかるはずですよ。

さて、私達華道部は、毎週金曜日に被服室で活動を行っています。週一回ですから、そんなに負担がかからないと思います。活動は、校外からいらっしやる先生の御指導のもとに行っています。とても親切に指導して下さいます。また、単位がとれると資格の免状がもらえるのです。このことは、楽しみの一つであり、励みにもなります。部活で生けた花は、家に持ち帰り家で再び生けます。だから、いつも家には花が絶えないという訳です。それに、花の名前もたくさん覚えられます。

忙しい日々の中、落ち着いた心で、花を通じての自然との対話の素晴らしさを味わってみませんか。新鮮な花々は、心を和ませてくれるでしょう。お花が好きな人、また少しでもやってみたいと思う人は、是非一度被服室まで足を運んで下さい。

るので御注意を) 二ノ八、あるいは放送室で待っています。

## ☆アマチュア無線部



「ハローCQCQCQハローCQ6 M、コールリングCQCQCQコールリングCQ6M、こちらはJG I Y A S……」というような感じで(これは50MHzの場合)電波に出ている無線部です。しかし、このように電波に出るためには、免許がなければなりません。ここで「無線は特定の人のやるもの」とか「電気のことをよく知っている人がやるもの」などと思っている方(特に女性に多いのではないのでしょうか)そんなことはありません。当部では誰にでも簡単に免許の取れるような国家試験に向けての指導(一人で解けない所もきちんと説明し、「試験対策・完全丸暗記問題集」から「プラスチックパット(愛のムチ用)」まで、その他もろもろを使って)をしていますので女性の方でも取れます。現在当部には紅一点で頑張っている(しかも免許も持っています)女子部員がいます。女性の方、このような人もいます。す。あなたも無線をやってみませんか? とにかく女性は大歓迎です。

また他に、有免者によるコンテスト参加、アンテナの製作などいろいろの活動をしています。興味を持った方、是非無線をやってみたい方、一度のぞきに来て下さい。(女性の方は狼がうろついでい

## ☆天文気象部

昔、中国では現在の天文学と気象学を合わせて「天文」と呼んでいました。そしてその「天文」は、賢人の間では常識であり、中には「天文ぐらい知らないで人間といえますか。」と言った人もいたそうです。これはちと大げさだったかもしれませんが、昔の賢人にとって「天文」がいかに大切なものであったかがおわかりになると思います。では、この賢人達はどういうにして「天文」を学んだのでしょうか。他ならぬ勉強と観測です。まず、色々な書を読んで知識をつけ、次に実際に何年かその土地の気候を観測したり、星を観測したりしていったのです。私達天文気象部も同じです。昼間は太陽黒点の観測や気圧・気温・風向その他を調べる気象観測。そして放課後には天文や気象の本を読んだり、話をして知識を高め、それを月一回の観測会(天体観測)に役立てます。気象の方は気象観測のデータや知識をもとにして研究したりしています。また、この観測会や研究の成果は二、三カ月に一回の割で発行している部誌(一般には配布していない)に掲載したり、年一回の理科展に出展したりします。でも、一番力を入れるのが文化祭です。普段の観測がここで生かされるのです。

さて、観測会と気象観測ばかり話しましたが、この他にも自主研究の宇宙線・流星塵・惑星などの観測もあります。また、学期ごとにスライド写真会やパネル展示会等もやったりします。



ところで、今まで天文気象部の活動内容を紹介した訳ですが、これを読んで「知識がないからだめだ」とか「望遠鏡がないから」と思った方、それはまちがいです。現在の部員は入部当時は素人でした。入部してから知識をつけたのです。目と思考力と自主性（やる気）さえあればあとは私達が一から十まで指導します。さあ、星や気象に興味のある君、特別棟4F地学室へどうぞ！

## ☆美術部

簡単に美術部の概要を説明します。部員数三十二名、活動内容は、主に油彩ですが、他にも素描、デザインなど、各自好きな活動を選べるようになっていきます。また、金、土曜には、クローキー会を催しています。

年間活動行事は、恒例の春休みデッサン大会が始まり、五月の埼玉県展覧会出品、夏休みは写生旅行と人物画、九月はメインである文化祭、十一月には高校美術展、そして二月の全日本学生美術展で終わります。——春休みのデッサン大会とは、同じ石膏像を何人かで描き最終日に皆で批評するものです。夏休みの写生旅行は、大体二泊三日で、風景を描くという目的で行い、人物画は十日間位モデルを頼んで描きます。文化祭は北高にとっては勿論ですが、美術部にとっても大へん大きな行事の一つです。九月の高校美術展は、埼玉県の高校生が、自分の学校のレベルと他校とを比較する良い機会です。

「自分は絵が下手だ」と思っているあなた！そんなことはありません。美術部に入って、あなたの新しい世界を切り開いてみませんか。

## ☆箏曲部

何かやりたい  
時間がない  
自由が大好き

冒険心と好奇心の塊のあなたへ——

年齢不詳で大丈夫  
男性女性おかも結構  
よってらっしゃい北高生  
初心者なんて気にしない  
一度触れたら経験者  
お金のない人大歓迎  
爪さえあれば三年間  
才能なんて不必要  
練習次第で演奏会  
明るうちに帰れます  
和室に並んだ十二面  
あなたの笑顔を待っています

追伸——

こちら箏曲部

古典の世界へお誘いします。



か。私達は皆、やる気のあるあなたを待っています。尚、部員は四季を問わず募集しています。

## ☆将棋部

こんにちは、将棋部です。将棋は、日本古来の伝統ある文化であり、教養性、娯楽性にすぐれた知的ゲームとして、奥深い内容を持っています。こんなこと書かなくても、ほとんどの人が知っていると思いますが、もう一度将棋を見直してもらいたかったのです。

将棋はとかく難しいと思われがちですが、そんなことはありません。将棋が好きならば、部活動をしているうちに自然と強くなります。ですから、初心者でも将棋が好きなら大歓迎です。

さて、その部活ですが、現在部員は十二名です。活動日は月・水・金・土の週四日です。実戦を主体にし、局後に感想戦をするようにしています。資料も豊富ですので、研究もできます。

また、変り種将棋（例えば朝鮮将棋）なども行い、結構にぎやかにやっています。そして一日の活動の最後は、ジャンケンをして、負けた二人が、先輩後輩の区別なく後片付けをします。（部長の私も時々片付けるはめになります）

定期的に県の主催する将棋の大会もあるので、実力を試すこともできます。皆さん、私達と一緒に将棋を指してみませんか。

## ☆生物部

みなさん、こんばんは。生物部です。

私達は北高の国際プロレスと言われながらも、雑草の如く、強い精神で頑張ってきた。こういった逆境に耐えてきた私達に、不屈の精神が養われたの言うまでもない。

さて、前置きが長くなったが、私達の研究は、ニンジンのカルス培養、ウニの発生観察、アルコール発酵、しらかばとの観察など多種多様である。中でも、生物部発足以来の大イベントのニンジンのカルス培養は、生物学という枠にとられずに、プロレスラーのアントニオ猪木さんが行っているアントンIIハイヤルのように、これから襲ってくるであろう食料問題の解決に大きく貢献するに違いない。

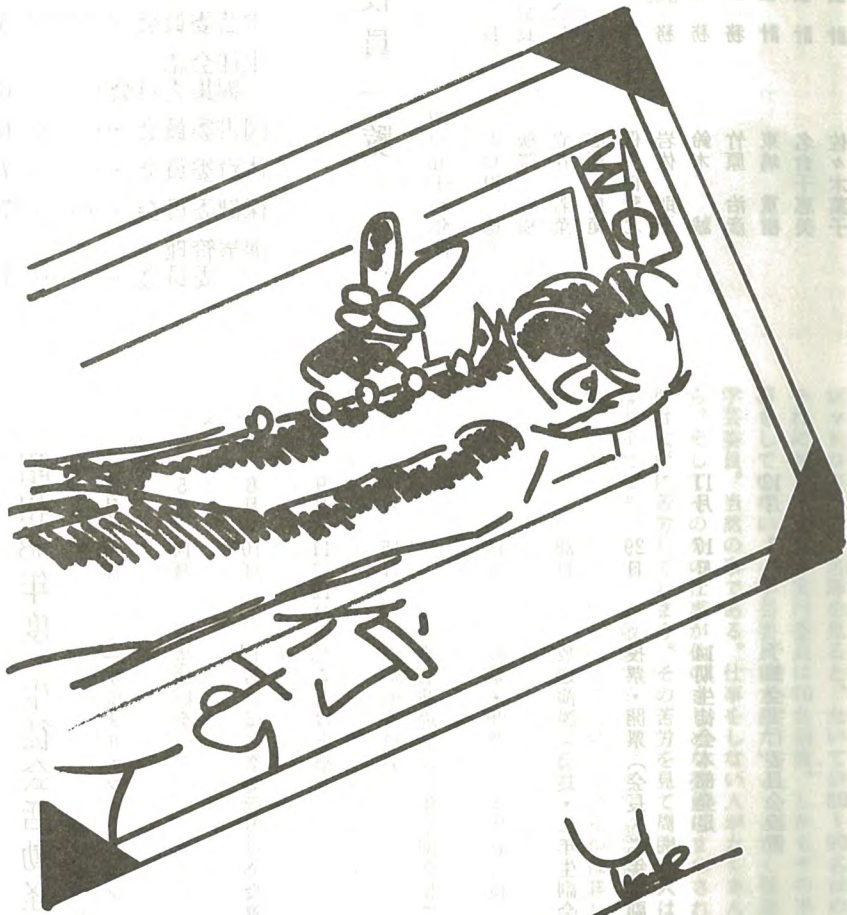
私達は研究だけに没頭する人間ではない。あるときは自然の営みに歓喜を覚え、あるときは大空の下で、私達もちっぽけな生物であることに気付く。あるときには、何も考えず体を動かし、玉遊びに夢中になるのも良いことであろう。

私達の一番望むことは『先輩達を乗り越え、上に行くのはこの俺だ！』という心構えを持つことである。まだ誰にも負けるつもりはないが、私達を越える者が出てきたときには、喜んで道を譲るつもりである。さあ、誰でもいい。入部して、私達を越えてみよう。ビックになってみよう。

山本小鉄



# 学生会・委員会



Yuki

## ☆映画研究同好会

みなさんこんにちは。映画研究同好会です。我々映研の現在の会員は十名です。三年生は引退し、二年生はもともといなかったのは今年一年生だけ（しかも男子ばかり）のヤング同好会です。今年是非女性の方にも入会していただきたいと思っています。

まず活動日ですが、原則として金曜日だけです。しかし映研日誌は常に回っていますし、映画製作に取り組むと毎日活動します。テレビでやった映画をビデオにとって見ることもあります。

昨年度の活動内容は、映研日誌を交替でつけたことと映画製作でした。映研日誌とは、一人三日で、その間に見た映画の感想、自分の考え、意見、会員への要望など思い思いのことを書くのです。これによって映研をまとまりのあるものにしていきます。映画製作の方は、昨年は二本作りしました。文化祭では「スパイ・ザ・グレート」等の上映、それにMOVIE HOUSE での映画に関する物の販売などを行いました。

今年の活動予定は、映研日誌の充実、文化祭に向けての映画製作（七月頃から）です。今年も映研の名の通り、多くの映画を観て話し合いたいと思います。映画好きの方、私達と語り合いませんか。

## ☆聖書研究会

幸福……。ほんとうの幸福とは……。



聖書

真理……。永遠の真理とは……。  
 移りゆく世の中、何を基準に生きてゆけばよいのか。その答えとなるものを、聖書を通して学んでみませんか。  
 聖書研究会は、毎週木曜日昼休みに、管理棟3F社会科室で、有志の者が集って活動しています。現在男女合わせて約十五人です。普段は皆さんで聖書を読んでいます。スペシャルプログラム・クリスマス・復活祭など盛りだくさんで、あなたをやみつきにします。生徒会に認められた同好会とは違いフリーなので、他の部活と兼ねることが出来ます。また個人の信仰の場ではないので、クリスチャンでない人も気軽に参加できます。  
 毎日何のために生きるかわからない根暗な人も、毎日何の問題もない幸せ者も、毎日楽しくてしょうがないひょうきん者も、みんなこぞって聖書研究会へ。一度木曜日の昼休み社会科室をのぞいてみてください。詳しくは二・三の嶋田まで。  
 “あなたの言葉は、私の足のともしび、私の道の光です”



# INDEX

- 生徒会本部 ..... 59
- 生活委員会 ..... 67
- 放送委員会 ..... 67
- 新聞委員会 ..... 67
- 学芸委員会 ..... 68
- 生徒会誌編集委員会 ..... 69
- 図書委員会 ..... 69
- 体育委員会 ..... 70
- 保健委員会 ..... 70
- 選挙管理委員会 ..... 71

## 生徒会役員一覧

昭和五十七年度		昭和五十八年度	
小池 明	会長	大和田 稔	会長
徳久 圭	副会長	飯降 一樹	副会長
大和田 稔	副会長	立花 若菜	副会長
景井 雅之	庶務	広瀬 良範	庶務
高橋 俊哉	庶務	保戸田雅之	庶務
花沢 典子	庶務	岩佐 則子	庶務
岩田 朋子	庶務	鈴木 誠	庶務
石川 美樹	庶務	竹原 治彦	庶務
山崎かよ子	庶務	東嶋 重樹	庶務
秋葉 好巳	庶務	名倉千恵美	庶務

## 昭和58年度 生徒会活動経過

4月 12日	一年生オリエンテーション
5月 14日	生徒総会
6月 10日	しらこぼと祭実行委員会設置
9月 11、12日	しらこぼと祭
10月 15日	臨時生徒総会 立会演説会（一年生副会長）
10月 16日	投票・開票（一年生副会長）
10月 28日	放送演説（会長・二年生副会長）
10月 29日	投票・開票（会長・二年生副会長）
11月 17日	14期生徒会本部発足
12月 3日	予餞会実行委員会設置

### 本部

#### 反抗

会長 大和田 稔

生徒会長になってから、早くも三ヶ月が過ぎた。生徒会室に仕事を持ってからは（空白もあるが）十数ヶ月になる。その間に私が最も強く感じたことは「仕事が厳しい！」ことである。そのために今までずい分と落ち込まされてきた。例をあげれば切りがない。だが、どんな失敗においてもその原因の中に必ず自分自身の、仕事に対する甘さがあった。「甘さ」こそ本部役員の最大の敵である、と私は思う。

生徒会関係の仕事は厳しい。なぜなら、それは全校規模の仕事であり、余程注意して取り組まねば必ずミスをおかしてしまう。またそれだけでなく、職員室との摩擦も一大難問である。労働量もはかにならない。家に帰りつくのは（住んでいる所にもよるが）夜の8時9時が普通。しらこぼと祭前などは一日おきの徹夜もあった。とにかく厳しい世界である。こう書くと思わない人も多いだろう。しかしウソではない。

さて、話は変わるが、北高生と他校生を比較してみると、行事に対する関心度が違う。文化祭を例にとると、他校の文化祭のパンプ

レットの実行委員名簿を見ると、たいてい80〜90名はのっている。それに対して北高の実行委員は70名前後、しかもその半分は何の仕事もしていない。「学芸委員は大変だ」と、とかく敬遠されがちな学芸委員。当然の事である。仕事をしない人がたくさんいるのだから。そしてその分の仕事が他のまじめな委員にまわされて気の毒な彼は大変に苦労してしまう。その苦労を見て周囲の人は「学芸委員は大変だなあ」と感じて敬遠する……。という悪循環になっている。他校の実行委員がどの位まじめに活動しているかは詳しくは知らない。しかし、他校の文化祭を見に行くと北高よりはずっと動いていると思つた。北高生は両極端なのである。仕事をする人、しない人、その差はあまりに大きい。

さて、話を本題に入れたいと思う。結論から言ってしまうれば北高生は賢明な高校生ではない。梟鳥のしらこぼとにたとえられる。しらこぼとは他のハトに比べて鈍いのである。北高生もそれと同じである。なぜか。それはおそらく北高生自身が自治権を放棄しているからだろう。なぜ生徒会役員選挙の公示が、立候補者がそろわなくて毎年流れるのか。なぜ評議委員が毎回「定数ギリギリ」か「流会」かのどちらかなのか。なぜしらこぼと祭がしらけるのか。その答えであると思う。

しかし、「自治権を放棄する」最も大きな原因は何だろう。私はまだ未熟なのでうまく説明できないので、次にある本からの抜粋を載せる。「生徒の自治的な活動を制約しようという動きは、きわめて顕著である。このことは、教次にわたる学習指導要領の改訂を通じて、自治会または生徒自治会という呼称を児童会または生徒会と改変し、「常に校長・教師の適切な指導のもとで、学校生活のよい



建設に協力参加し、公民としての資質を育てる、ことを目標にし、また、生徒会は校長より委任された権限の範囲内において生徒のできる種々な事柄を処理する機関（引用は学習指導要領）とされているのである。しかも、このような表現も、今次の学習指導要領には呈示されていない。だから『指導要領は生徒会が自治権を持つ事を否定していると考えざるを得ない。』（小笠原英三郎『児童会・生徒会と集団主義』集団主義教育の本質）という事もできるわけである。

北高生は、まさにこの学習指導要領にびったりとそっている。しかし、私は先程書いたような「しらこぼと」ではない。だから、あえてこの学習指導要領に反抗する。こんなものに縛られてたまるかと思うのである。

しかし、自治は必ずしも生徒にとって都合の良いものではない。かえって制限が多くなる事だってあり得る。しかし、現在までのように職員から制限を加えるよりははるかに良い。そしてそれは私達の「成長」を促すはずである。

繰り返す。私は「しらこぼと」ではない。学習指導要領がどうであろうが、先生方がそれに従おうが従うまいが、関係ない。私一代で成し遂げられるような簡単な事ではないが、私は自治権獲得を目指す。



失敗を怖れて何もしないより、失敗してもその中から何かをつかもうではないのか。今なら後戻りはできるのだから、今ならば……。自分達の身の回りのいろいろな事、学問、部活、友情、恋、苦悩、いろいろなものがある。それらをすべて、自分の物とし、取り込んで血になり、肉になりしてしまおうではないか。今しかできない事はすべて。親の敷いてくれた安全なレールの上を、その通りに生きるのもいいだろう。しかし自分の人生は自分の物なのだ。あえて危険の中に飛び込むのもまた、悪くはない。風雨にさらされるもいいだろう。自分で生きていく世界を切り開こう。共に創造しようではないか。つまらないと思うなら楽しくしようではないか。怒りを感じたら真理を叫び、意志を貫こう。誠一杯心を熱くしよう。感じようではないか。

一九八三年新春——。私は思う。人を動かすのではない。共に築き上げ、創り上げていこう。熱く心を燃やそうではないか。彩やかに。熱血青春ドラマを演ずるのもまた、乙なものである。息が切れ、苦しくとも、力尽きて倒れようともそれならそれでいい。我等には若さがある。熱い心があるのだから、全力疾走で走りぬけよう。熱い心があるのだから。

一九八三年春——。青嵐が吹きあれる模様。

## 怪物の頭と私

副会長 立花若菜

ホームルーム棟四階の中央、一見へんぴな所にある生徒会室に北

## 私の思うこと

副会長 飯降一樹

一九八二年秋——。私は生徒会副会長になった。なるべくしてなつたといおうか、ならされてしまったといおうか、よくわからないままに副会長になった。私の脳裏には本校に入学しての一年半、生徒会活動に携わる多くの人の熱意を見た。そして逆に何事に対しても無関心な大多数の人間をも同時に見てきただけに、「自分に果してどこまで出来るのだろうか。」という一抹の不安がいつもあった。生徒会役員としての力はどれ程のものだろうか？一体どれだけの人間を動かす得るのか。私に？

話は、百八十度転換するが、今の若い世代の人々は、えてして、自称「シラケ時代」と言う。本校にもそういった風潮が少なからずある。それは諸子の承知の事だと思いが。何がしらせせているのか？誰がしらせさせているのか？自分達自身ではないのか？自分では何もしようとせずに他から与えられなければ何もしない。自らでそれらを模索せずに、あきらめ、「くだらない。」とうそぶく。刹那的な享楽に身をゆだねる。それで楽しいのか？おもしろいのか？心の底から笑えるのか？私は人として生をうけて、その生命の泉からほとばしる力を限界まで燃え上らせる事ができるのは、今のこの時をおいて他にはないのだ、自分の内に秘められている無限の可能性を試すのは最高の時だと思ふのだ。自分の本当の力を知らずに、才能を見い出せずに埋もれてしまうのか、輝こうとは思わないのか？

高に入学して、大胆不敵にも生徒会副会長になり、毎日が躍動にみちている少女、立花若菜がいました。

わが北高のしらこぼと祭を経験し、なんと、乗りの悪い学校だ、と感じました。働く人は特定だと思われている人達だけであって、文化祭など他人事という顔の人が多いのには驚ろきました。北高生は、ある意味で孤独すぎる大人すぎると思ふのです。というのは、まるでサラリトマンが会社に行つて自分の仕事だけを済ませ時間がきたらさっさと帰るといふように、自分の用足しをしたらそれでいい、ただ学校に来るといふ人が多くではないか。今、学校では何が起こっているのか知らない人が、いや知らなくても十分はずかしくないような環境を私達はつくっていないだろうか、と思ふのです。そんな姿を知って、やはり直してゆくのは、一人一人だけ、中心になつてやるべき所が生徒会だと思つたのです。実にそんな私と生徒会というイメージはよく合っています。今は本当にやりがいのある仕事だと思つています。先にも書きましたが、生徒会というの面白い分、特定な人間の集まりだと思われがちですが、そう考える事からして、自分と学校というものを切り離して見ているのではありませんか。北高に來ている以上あなたも生徒会の会員なのです。そこを取り違えないでほしい。生意気な女だ、と思ふかもしれません。私も過去において一度も生徒会の役員になつた事はありませんし、自分と学校という存在を今の様に考えた事ありませんでした。今現在が最初で最後かも知れないのです。

てな具合で、早新年を迎えもう一月も終わろうとしているこの頃。ホームルーム棟四階の中央、一見へんぴな所にある生徒会室。ここは、越谷北高という名の怪物の頭、なのです。四方が見わたせ



る実はすばらしい頭の部分だったのです。

## 生徒会へ入って思うこと

会計 名倉 千恵美

ふとしたところから、欠員であった生徒会会計になってしまってもう一年が過ぎようとしている。なにしろ、入学式当日から生徒会室にいたのだから、自分でも驚いている。高校生活第一日目から、既に、生徒会の道への歯車は、まわり始めたのである。

中学校の時も、本部役員を経験してきた私は、初めのうち、やら中学校の生徒会と、高校の生徒会とを比べた。その頃の生徒会の仕事は、専ら、生徒総会に向けての予算折衝であった。決算、予算の計算、また、それらに使う資料、プリント等を作成したり、全て生徒会本部役員が、行っているのである。夜は遅いし、忙しいし、それをこなしている先輩方の姿を見た時程、自分が、小さくみえた事はない。中学校の生徒会が、如何に先生に頼っていたか、痛感した。言い換えれば、高校の生徒会は、生徒独自の活動なのである。予算折衝などは、真剣そのもの。五月の連休も休まず仕事をする熱意にひかれ、私は生徒会本部役員になった。

それから、約一年。十月には、十三期の任期も終わり、続けるか否か、大変迷ったが、結局、十三期と十四期とを、股に掛けることになった。

ところで、生徒会への関心は、一体どうなっているのだろうか。生徒総会の時、私語や内職、シールコールに弥次、その上、脱走す

ど、若菜(立花)を知ったのは文化祭参加団体代表者会議に出た時です。前に少しずつ気持ちが悪く動いたと書きましたが、その時もわがわが骨が抜けたようになって、くたくたしながらも体の中はほわっとしてたのです。自分で選択する時はそうなんです。

今はどうかと言うと、まだ自分で仕事を見つけて、自分で責任を持ってやるって所まで行ってないです。そういう自分で責任を持つてやるのは慣れてます。仕事が終わった時に、ああ良かったなあと思えたら、とってもうれしいうらやましいと思います。といっても、まだ始まったばかりなのに……。

会計という仕事は果たして自分に向いているかは疑問です。会長が会計と庶務を決める時「会計をやる人はまず机の中がきれいじゃないとな。」と言いましたが、教科書とか入れる時は大体手さぐりです。つっこんじゃうんです。大体どういう状態か、想像できますか……。時々、自分でも不思議になります。

一番大事な事って、人と人とのモラルなんじゃないかなんて思うんだけど、生徒会室って個性豊かでおもしろいし、その点でも勉強させてもらっています。

## 生徒会役員になって

庶務 竹原 治彦

役員になってみて、生徒会の仕事は大変なものだとつくづく思っただ。少ない人数でありながら、いくつもの大きな行事の先頭に立ってやっていかなければならない。先生との話し合いや、肉体労働な

る人もいた。自分達の自治と自由を守る為の最高の議決の場と、知っての事だろうか。その他の会議等についても同様である。中学校の時、このような事は一切なかった。だからと言って、中学校の方が良かったわけではない。何故なら、先生の圧力が強かったからに他ならないからだ。生徒会活動の本来の姿ではないのだ。越谷北高生徒会々員は、北高生一人一人なのだ。そして、そこに、羅針盤として、本部が存在するのだ。

生徒会活動に必要なものは、「やる気」の一言に尽きる。生徒会活動とは、生徒の自治活動。つまり、生徒達ができる範囲での活動を自主的に行う事なのだ……。確かに生徒会は異様に固いイメージがある。生徒会活動と聞いただけで、うんざりする人も少なくないだろう。でも私は、おせっかいだとか、物好きだとか言われてもいい。越谷北高生徒会活動の羅針盤の針の分子の一つになりたい。

## このごろの記録

会計 佐々木 葉子

はあはあふうふう言ってる所に若菜が来て、役員に勧誘しました。強歩大会が近づいたとある日でした。私には、とてもむかない人間の種類だと言ったら「できるよ、できるよ、大丈夫だよ。」と若菜が何回も言うのでそのうち少しづつ気持ちが動いて、今に至るといってわけです。どこか行こうとする時でも、しっかり計画をたてないで道に迷ったり、おまわりさんに道を聞いたりしながらで、結構そういうのは楽しいのです。人生はそんな風にはいかならないと思うんだけ

どもしななければならない。少しでもミスがあつてはいけないのである。そうでないと、行事をうまくやっていく事ができない。などともこんな事を書いてみると、いかにも一生懸命に仕事をやっていると見えてくるけど、僕もつい三ヶ月前までは生徒会の仕事なんか全く知らなかったし、行事の時も自分から参加するという事は、全然なかった。

今、よく考えてみると、僕はこういう目的を持って役員になったのだろうか。三ヶ月前、僕は、朝起きて学校に行き、部活をやっていたので、つまらなくなっていた。その時に役員選挙の事を知り、今の生活に変化を与えるにはこれしかないと思ったが、副会長はやりたくなかった。したら、同じクラスの鈴木誠君が、庶務をやると言っていた事を知り、ほくもやろうと思ったのである。それが良かったのか悪かったのか。今では生徒会行事の時には、先に立って働く立場になってしまった。まあ、このような仕事をやってみるのも良いのではないかと思う。

最後に、生徒会という物は、生徒全員が参加する物であつて、役員はその代表・まとめ役でしかない。だから、生徒一人一人が生徒会活動に参加しているという自覚をもって、行事などに積極的に参加してもらいたいと思う。又、自分はその代表者として、これからもみんなの意見を聞き、それを取り入れて、より良い生徒会にしていくために、頑張っていきたいと思う。



## 笑わば笑え!

庶務 広瀬 良範

昭和五十七年十月十六日、何をどう間違ったのか、私は庶務になる事を決心してしまった。いや、決心させられたというべきかも知れない。まあ、そんな事はどうでもいいのだが(本当の事を言うともあまりよくないのだが、ここでどう言うつもりでもない)が、どうでも良いという事しておく。)とにかく、私は埼玉県立越谷北高等学校第14期生徒会庶務となったのであった。

今日は昭和五十八年一月二十二日である。昨日、生徒会誌にのせる原稿を書いてくれと、たて三十字、横二十五行、合計七百五十字詰め原稿用紙を二枚渡されたのだが何も書く事ができず、今に至っている。(正確に言うと、この行の最初の「。」までに二百八十九文字も書いている訳だが、そんな事は気にしないでほしい。)

しかし考えてみると早いもので、私が正確に庶務になってから、もう二ヶ月と五日(承認されたのは、なんと昭和五十七年十一月十七日水曜日である。)が、経過している。こんなに月日がたつても、何もした記憶がない。しかし私は記憶喪失ではない。つまり、本当に記憶に残るような事は全くやっていないという事になる。今、一年庶務の鈴木誠君の原稿を読んだが、書いてある事が、大幅に違い(要するに彼は、いろいろとやっていたかなり大変らしい)それに気づいた私は、自分が恥しくなった。これからは「頑張ろう」と、簡単に言ってしまう私を、どうか皆さん、笑いたければ、笑って

仕方がない。中毒ではないだろうか。僕は心配になったので病院に行ってみてもらおうことにする。ついでに書いておくが生徒会は本当に甘くない……事実です。蛇足ですが、僕は、この生徒会誌編集委員会の副委員長です。(三月三十一日まで)

## 生徒会役員になって

庶務 岩佐 則子

生徒会役員になって、一般生徒の生徒会に対するあまりにも無関心さを強く感じたと共に、自己への反省を改めて感じました。

越谷北高生徒会々則の第一章第一条に

「本会は埼玉県立越谷北高等学校生徒会と称し全生徒を会員とする。」と、書かれてあるのは、誰でも知っているし、それについて、何ら意見もありません。北高に入学した以上、生徒会に入るの当然の事と言って良いでしょう。しかし、生徒会の会員であるという自覚を一体何人の人が持ちあわせているのでしょうか? 生徒会は、一部の生徒会役員が運営していくものだと思解している人がどれ程いることでしょうか。確かに、生徒会の大まかな運営方針は、生徒会役員がしなければなりません。しかしそれ以後の運営自体については生徒一人一人の協力がなくては活発な活動はできないと思います。だから、いつまでも傍観者のままでいいで、そっと手を伸ばしてみて下さい。そうして、どんな形でもいいですから、生徒会活動というものに触れてみて下さい。

随分と偉そうな事を書き連ねてきましたが、冒頭にも書いた通り

して下さい。

## ある役員の実感

庶務 鈴木 誠

この僕が生徒会役員になった理由。大した事ではない。しかし、特別書いておこう。思いおせば第十二回しらこぼと祭バンドフェスティバルの行事中、ある先輩(あえて名は伏せる)が、

「次の生徒会にだけか入って体育館でバンフェスやらしてもらえ。」などとぬかしおった。その後、おまえやれ!と言われた。取りあえず断った。選挙の前、担任の先生がHRの時間、副会長立候補は誠なんかいいんじゃない? などとおっしゃって下さった。思わず断った。二、三日後、当時役員の出発部の先輩(この方もあえて名は伏せる。)が、こう発言した。

「おまえが役員にならないと、バンフェスはできない!」……僕はためらった。立候補なんて事は気の小さいこの僕にはできない。困った。

「庶務は立候補しなくていいんだぞ。」

……来年のバンフェス立候補ナンシ! やるっきゃない。そういう方程式が頭の中で、スクーターより速く計算された事は言うまでもない。そういう訳で役員となってしまった。しかし現状は厳しい。仕事か思ったよりはるかに多い。僕は思った。ここで頑張らないとバンフェスが……。そう、僕はバンドの事はばかり考えているのであった。だが、最近、一生涯懸命仕事をしすぎたためか、仕事がないと暇

これは、北高へ入学して以来、一年数ヶ月(ほぼ二年)の間、一貫して傍観者であり続けた私自身への反省文以外の何物でもありません。とにかく、これらの反省を糧として、今後生徒会活動に励みたいと思います。

ところでまったく、余談な事ですが、何度か「生徒会役員になった」と言ったら、「へー、生徒会に入ったの。」と言いつ返されたことにこだわりを感じているのは私だけでしょうか。

## 暗闇から

会計 東嶋 重樹

北高に入学してから一年と半、生徒会に全くと言っていいほど関心のなかったこの僕がなぜ生徒会の役員になったかと言うと、今から半年前、部活をやめ、毎日ワンパターンな生活に明け暮れていたこの僕に、なんと会長直々のお呼びがかかった、のではないんです。その直属の部下、バスケットボールをこよなく愛す二人の戦士から暖かいお呼びの言葉をいただいたのです。それは、何度もうんぱーな生活から脱出しようとして挫折したこの僕にとって、あなたも神が授けた最後のチャンスのように思えたのであります。

「これしかない。これを逃してしまえば、また暗い生活へ逆戻りだ。この手で北高を動かしてやろうではないか。」と一瞬思ったのはさだかではないのですが、その言葉に犬のように首を振った僕でした。そして今、白い冷たい視線を受けながらも、成功へ一ミリでも近づけよう? とひたすら頑張っているのです。それには、大勢の力が必



要だと知りました。また、中心がしっかりしていなければならぬ事も知りました。幸い中心人物の方は、すばらしい会長がいます。しかし、「大勢の力」の方はどうでしょうか。今はなんともいえませんが、これからの北高生にかかっているのです。一人一人が小さな声でしゃべっても、全校生徒が集まればその声がとても大きな声に変わります。一人一人が、少しの力でもだしてくればいいのです。少しでも生徒会に関心をもってくれればいいのです。これからの高校生活の中で、そのような姿勢で色々な行事にのぞんでみて下さい。きっと、つまらなかつた行事が楽しく感じます。きっと成功した事に喜びを感じます。その喜びをいっしょに味わいましょう。北高生に活気があればあるほど、生徒会はそれについていこうとします。北高生のために生徒会はあるのですから。

## 僕が生徒会役員になったのは……

庶務 保戸田 雅之

実は僕、学芸委員だったのです。昭和五十七年度のしらかばと祭であの後夜祭をうけてしまったのです。いまわしい台風のために一週間ほど延期された後夜祭。雨風でしらかばと祭第二日目が中止になったうえに、一週間後に後夜祭では、盛り上がるはずがないのです。そこで僕は思いました。「これではいけない。何かが間違っている。」と。そして生徒会役員になろうと決意したのです。というのは役員になった理由の極わずかな部分をしめるカッコイ

## 専門委員会

### ☆生活委員会

腕に輝く「委員腕章」一度はつけてみたい！  
生活委員会は活動が大変じみで、ハタで見えていたら活動しているのかどうか、わからないくらいです。しかし、考えてみて下さい。高校というのは生徒がいるからこそ、成り立つのであり、その生徒のための生活委員会です。見直してみても下さいませんか。彼らは、文化祭では校内に出現し、お客さんの乗り捨てていった自転車の整理、体育祭では、見たい種目もなんのその、人気がない校内での番人など、校内においていたる所に存在し、縁の下の力持ちです。  
高校生活といえば、明るく楽しいものです。おしゃれをしたい年頃でしょう。委員といっても同じ十五、八歳の高校生です。気持ちはいいたいほどよくわかります。しかし、ここは生活委員。心を鬼にして……せめて気持ちだけでも明るく華やかなものにしませう！  
地道で目立たない、でも、しっかりみんなの役に立っている、この生活委員会。あなたも一度入ってみませんか？

### ☆放送委員会

「連絡します。本日放課後、三時四十分より視聴覚室において、

イものなのですが、真の理由は、しらかばと祭が終わって、打ち上げをやったりしているうちに、しばしば生徒会室に出入りしている方々たちと交友関係を持つようになり、いつしか逃れられない状態に陥っていたからなのです。

おかげで、学芸委員会から除名されてしまいました。でも、良い面もあります。それは、今まであの寒くて暗い二年一組の教室と、自宅を往復するだけだった学校生活が一転して行動範囲を広げる結果となったことです。少しだけ偉くなったような、また自分が学校という組織の一部であるという認識が高まったような気がして実に良いものなのです。

話は変わりますが、役員になってしまった以上、先ほど述べたわずかな理由のように、しらかばと祭だけに限らず、とにかく退屈な生徒会行事は何とかしてなくしたいと思えます。でもどんなにがんばっても僕は一人です。一人の力じゃどうにもなりません。主体は全校生徒なのです。ご協力をお願いします。

そろそろ、書くこともなくなってきましたのでこのへんでやめたいと思います。

今、思いついたのですが、僕が生徒会役員になった理由のその他の部分に、知る人ぞ知る、ある印刷物の発行の仕事のついでだといれておいて下さい。

放送委員会が行われます。繰り返し、連絡します……。

と、いつもこんな調子で、男声による低音を校舎内外に鳴り響かせている委員会、これが放送委員会です。あっ、でも決して「暗い」という意味ではないんですよ。根は明るくて面白い人たちがばかりが集まっているのです。本当に。

さて、その放送委員ですが、各クラスから数名ずつ選出されています。音楽好きな人、オーディオ等の機械に興味を持つ人などが多くなります。偶数日は学校のレコードをかけ、奇数日には各委員が、思い思いにレコード、テープ等を持ちよって流しています。他に、朝会、文化祭、球技大会等の放送準備、記録を行っています。これが、かなり大変でして、放送室と会場との間を何回も走り回ることもしばしばあります。でも、それなりに特権も多いのです。詳しい事は放送委員になればわかりますよ、はい。

あとは冒頭の連絡放送です。なるべくわかりやすく、簡潔になるように努力しているのですが、トチリによる多少の内容不明瞭はお許し下さい。誰でもマイクを目の前にすると上がりますので。

最後に、放送委員会ではやる気のある委員を募集中です。男子、女子、上級生、下級生、根明、XX等は問いません。何かやってみようと思っている人、待っています。

### ☆新聞委員会

「学校新聞とは一体何だと思えますか。」



と、尋ねられたときに、あなたはどのように答えますか。私だったら、「読む人に何か主張するもの。何かを訴えるものではない」と、答えます。実際、そのつもりで書いてきましたし。

越谷北高新聞の場合、一番大切なものは書く人の心です。気構えです。ですから、毎日が疑問の連続であり、客観視の連続です。特に、大きな学校行事になると、生徒、生徒会、教師の三つの立場に立って見ることがあります。そして自分の意見を持ち、新聞の記事として書くのです。時には怒りを感じることもあります。そこで、「みんなを怒らそう」というつもりで文章を書き、見出しをつけます。「だれも怒らなそう」というつもりで文章を書き、見出しをつけません。ほとんど皆、反応してくれません。文句を言ってくれることを望んで書いているのか？ 作っても無駄だったのでは？ などと不安になることが多分にあります。でも、次の新聞に取りかかると、そんな意識もうすらいでゆき、新聞ができ上がると喜びさえ感じられるのです。「でき上がった」という思いは感無量です。でき上がった新聞を見ることは、喜びであり、次号への意欲にもなります。こればかりは、真剣になって新聞作りに参加した人以外にはわからないと思います。

では、活動内容を。一年に二回出す、活字新聞が、いわば二本の柱となっていて、我が委員会の仕事の九十九パーセントを占めています。他には、号外(更紙)を出すことや、壁新聞を作るなど多くあります。特に、内容がどうしても薄くなる三学期の新聞をどうするか、毎年の課題なのです。

### ☆生徒会誌編集委員会

そのままズバリ、この「しらこぼ」を作る委員会なのです。本を一冊、自分たちの手で作り上げるといって、実に大それた委員会なのです。死にもの狂いで作り上げた、この「しらこぼ」が、いったいどの位の人たちに読まれるのでしょうか。

それでは、この会誌ができるまでを、ごく簡単に紹介します。まず、毎年ほとんど変わらない構成ですが、学校行事と部活動、委員会の紹介、そして特集の四本を柱としています。そして、それぞれの原稿を集めて、それを編集する。これが全てなのです。何だかんだといって、仕事が三学期にもちこされ、大あわてにあわてて何とか発行する、といった具合です。今年こそは今までの生徒会誌から脱皮しようと、みんなで誓ったのですが、できあがったものを見てみると、結局、昨年のもと同じようになってしまいました。来年の委員さんたちは、是非とも脱皮を成功させてほしいと思います。今、この会誌を読んでいて、何か感じる事はありませんか。感じただけではなく、あなたの手で、もっと内容のある会誌を作ってみませんか。



「新聞はくり返すことが重要なのです」

### ☆学芸委員会

学芸委員会は、越谷北高の学芸行事(文化祭や予餞会)を行う上で、重要な委員会です。中核となっているのである。だから、委員会活動が活発であるか、不活発であるかによって、学芸行事が成功するか、不成功に終わるか、が決まってくるくらいである。

仕事の内容を具体的に言うと、六月文化祭実行委員会を設置、ここから九月に行われる文化祭に向けての活動が開始される。夏休みには、時々登校し、文化祭の準備を完璧とするのである。九月に文化祭を行い、十月に文化祭実行委員会を解散、二月、予餞会実行委員会を設置、二月中に予餞会を行い、一年間の活動を締めくくる。



### ☆図書委員会

私達が生きていく上で「書物」は欠かせないものである。広い世界へ目を向ける意味で「本」というのは重要な役割を果たしているのである。

我が高校にも無論、図書委員会は存在する。存在するのである。実に喜ばしい事ではないか。現在図書委員の塚越英一君はしみじみと語る。この委員会に入って実によかった。今まで世間の荒波に揉まれ、暗く人生を送っていたが、この委員会に入ってから、希望の光が見えた、生きる喜びが出現したと。これは本がもたらしたものである。ここでは図書委員会の活動内容を紹介しておくことにしよう。まず、読書会の開催である。一年間に数回開催する。何か一冊、本を決め、自主的に生徒に集まってもらい、皆でその本を読むのである。文学に浸るといって意味で実に有意義な催しものである。しかし過去を振り返ってみると、十人以上集まった事が無いのであるが、又、図書日より、図書館報などの発行を行っている。

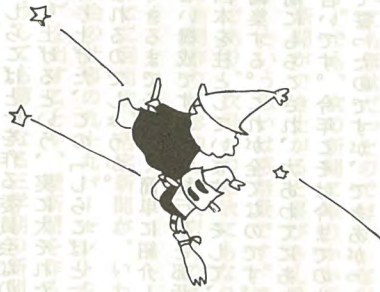
率直に言って、この委員会は「楽」である。決して勉強や部活動の妨げにはならない。当番制で、昼休みと放課後(四時半まで)に本の貸し出し係として、デーンと座っていればよいのである。本は我々にとって欠かせないものである。教養をつける上で大きな役割を果たしているのである。そういった本の管理をするのが、我々図書委員会なのである。実にすばらしい、重要な委員会である。我々のように図書委員になれば、廊下などでサインをせがまれる事もしばしばあるのだ。(本当カナ)

書物のために、そして北高の生徒のために、奮起してくれる人を期待している。



## ☆体育委員会

数ある委員会の中で最も YOUNG 委員会っていったら、それは、我が体育委員会なのです。あふれる若さ、青春は二度と帰らない！（ふ、ふるいフリーズだなあ……）より充実した、体育祭、球技大会を私たちと一緒に作っていきませんか。体育が苦手だろうが何だろうが、そんなことは関係なし！ スポーツが好きな人やる気のある人、めだちたい人、男の子、女の子……み〜んな、待っています！



## ☆保健委員会

保健委員会の活動は、生徒の健康の維持と促進を中心としたものです。

具体的には、定期健康診断（身体測定・検診・検査）や、献血の補助。気分の悪くなった生徒を保健室につれて行き、面倒をみる。クラスの健康状況について保健の先生と相談するなどです。

保健委員会は主に学年ごとに昼休みに開かれます。放課後に開かれることはほとんどなく、早く家に帰りたい人や、部活動に最初から出て頑張ろうなどという人でも、安心して出席できます。

委員会が開かれるのは、保健行事の行なわれる前が多く、内容の説明や、実施にあたっての注意、役割分担を決めたりすることが主です。

また、毎年一学期には東部地区高校生徒保健委員会に代表二名が出席し、講習を受けています。

この委員会の仕事を、大変だと、感じる人もいるかもしれませんが、各人の健康を管理するのは基本的には本人であるし、本校は優秀な高校であるので楽にできます。この委員会をやってみるのも、なかなか楽しいと思います。

## ☆選挙管理委員会

何だかわけのわからん委員会だと思っただろうが、何を隠そう（別に隠しているわけではないが）選挙管理委員とは我々の事である。一体全体この委員会では何を行うのか、という疑問が出るはずである。では早速その疑問に答えよう。

何の事はない、選挙の時に活躍するのである。選挙と言っても百年中行われるわけではない。一年に一度である。……ウーム、それでは楽そうだなあ、と思っただろう……しかし実はそうではないのである。立候補者がいないという事態に陥った場合、その時から苦難の日々が始まるのである。ある委員は『地獄の苦しみ』と表現している。……と書くとも誰がこの委員会を逃避してしまうかも知れない。やばい。やばい。でもやりがいのある委員会だべ。常に活躍するのではなく一年に一度、活躍するのだから……。

評議員の中から数名、この委員に選ばれるのである。つまりこれが選挙管理委員なのである。

みなさん、おわかりいただけましたかしらん。わたし、この委員会に選んじま……す。何故なら、……。

別に理由はありません。ただ誰かしらやってくれないと困るからで……す。とにかく、こういう委員会があるという事だけ頭に入れておいてほしいのだ。あと、数行余ってますなあ。何を書こうかしら。あれも書きたいしこれも書きたいし、うんとこさっとこほいさっさ。へのへのもへじのはとぼっば。いやあ、今回の会誌は最高の出来ですなあ。

END

## ポエム・ロード

### ○白いグライダー

白いグライダー 未来の地上をはう

白いグライダー 見えるのは赤い土ばかり

ふらりふらり流れて

何かを求めて

白いグライダー 雨にぬれて

白いグライダー 低空飛行

パイロットは泣いている。

どこへ行ってしまったんだ。

消えてしまったのか。

白いグライダー 風にながれて

白いグライダー どこかへ飛んだ

by S. H



# 特集

あなたが餓死しないために

## 将来の職業



☆選挙管理委員会



鈴木先生



塚越先生



木上先生

石ノ入先生



# プロローグ

## 来たるべき時は必ず来るのである！

特集の最初の表題を見て何だこれは、と思った人が多数いると思う。「食糧問題」についてかと思えた人もいるだろう。しかしもう少し連想してみよう。餓死するという事は「食えなくなって死ぬ」事である。食うための手段は、盗み又は食い逃げなど様々ある。しかしまさか『うる星やつら』じゃあるまいし、一生食い逃げ生活を送る訳にはいかないだろう。ここはひとつ、冷静になって、まともに食うための手段を考えてみよう。それは自分で「稼ぐ」事である。そのためには「職に就く」事である。今我々は学生として毎日を過ごしているが、あと何年かの後、必ず「職業」に就かなくてはならない。一般的に言って、男子は一生の問題となる訳である。……こんな事を書いていくと、そんなの先の話だ、今は大学の事だけ考えればよいなどと暢気な事を言う人が必ずいるはずだ。しかし、大学へ進学するにしても、漠然と進学するのではなく、将来の目標をもって進むべきである。そういった意味で、今から将来の目標をしっかりと考えておく必要がある。まだ先の話だと思っている人には、はっきりと言っておこう。来たるべき時は必ず来るのである。

まずどのような形で、「職業について」を調査したのか話そう。

去る一月二十一日、北高生全員を対象にアンケートを行った。今までの特集の形式が、インタビュアーや学校紹介をベースとしたものが多く、マンネリ化しているという事と、日頃やる気のない北高生とされているのは本当なのかどうか、一つのテーマを提起して調べてみようという二大方針によって、この特集に決定したのである。では早速内容に入ろう。

(円グラフ：外側が男子、内側が女子)



### Q1 あなたはどんな職業につきたいか

考えたことはありませんか……

まず、職業について考えたことがあるか聞いてみました。グラフを見ておわかりの通り、「よくある」「ある」の二つで全体数の七割以上を占め、大体の人が職業を考えた事があるのがわかりました。グラフを見て何か気付いた事はありますか？ 何と、男性よりも女性の方がわずかにその数が多いのです。どんな職につきたいか女性の方がよく考えているという事です。最近は何に就職と言われているか。「果たして大丈夫なのか。」という不安からでしょうか。これは男性にもあてはまる事なのですが……

Q どんな職業に就きたいか  
考えたことはありませんか。

(※外側の円は男、内側は女です。)



### Q2 あなたのつきたい職業は大まかに言って次のうちのどれですか……

次に、どんな職業につきたいのか聞いてみました。一番多かったのが未定の三十%で、次に会社員、公務員、自由業、自営業の順でした。目立って多い数の職業はありませんが、公務員と会社員で全体の半数を占めています。公務員を選んだ理由として一番多かったのが「安定性」でした。(職業を選んだ理由は、欄外で詳しく説明したいと思います。) この調査でわかったことは、七〇%の人が、大体の目安として、就きたい職業を持っているということでした。

Q あなたの就きたい職業は大まかに言って次のどれですか。

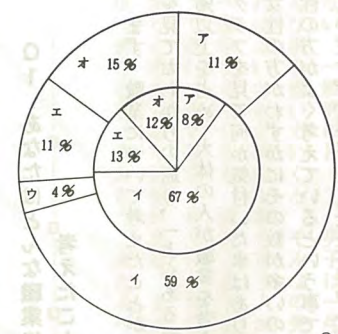
項目	男	女
ア、公務員	24 >	21
イ、会社員	25 <	30
ウ、自由業	13 <	15
エ、自営業	8 >	4
オ、未定	30 =	30 (%)





Q3 あなたは何を基準に職業というものを考えていますか……

アンケートの結果一番多いのが適性で、全体の65%を超えています。グラフからわかるように女性には、「社会的地位」の項がありませんでした。質問をしなかったのではなく、集計したところ、三人しかいなく、グラフに表せなかったのです。しかし、北高には逞しい女性がいることは事実です。



Q あなたは何を基準に職業というものを考えていますか。

項目	男	女
ア、給料	11 > 8	
イ、適性	59 < 67	
ウ、社会的地位	4 > 0	
エ、安定性	11 < 13	
オ、その他	15 > 12 (%)	

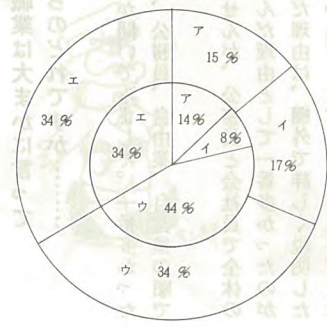
適性は女性の方が少し多いのですが、男性はその代り、給料・社会的地位の方へ移っているようです。ここでも安定性は幅をきかせていますが適性に比べると、ずっと少ないことがわかります。

Q4 もしあなたが希望する職業に つけなかったらどうしますか。

次に、希望する職業につけない場合をアンケートしてみました。何度か再挑戦してみるとというのが一番多く、ほんの少しの差で、わからない、というのが二番目でした。最後までくじけない、というのは男性の方が多かったのですが、女性も8%の人が、夢を捨てない、と言っています。こうした女性が、今後もっと増えていくと思います。逆に、すぐあきらめて別な職を見つける、という現実派も多いことは確かです。こうした身の振り方も増えていくかもしれません。

Q もしあなたが希望する職業につけなかったら、どうしますか。

項目	男	女
ア、すぐにあきらめて別な職を見つける	15 > 14	
イ、最後までくじけず夢を捨てない	17 > 8	
ウ、何度か再挑戦してみる	34 < 44	
エ、わからない	34 = 34 (%)	



Q5 女性の場合、仕事はいつまで続けていきたいですか 又、男性の場合、女性にはいつまで仕事を続けてほしいですか。

今まで男女にこだわってきたのは、実はこの問題のためなのです。ここでは考え方の差がよくわかり、最もおもしろい所だと思えます。まず男性は、結婚するまで・わからない、が第一位。次いで子供が生まれるまで、そしてその他の順になりました。ここで、約半数近くの男性は、女性に家庭にいてほしい、と願っているのに対し二五%もの女性は、一生仕事を持ち続けたい、と思っている事がわかります。その他に忘れてならない点に、わからない、という答えが多かったことで、この問題は難しい物だといえるでしょう。

項目	男	女
ア、一生	12 < 25	
イ、結婚するまで	29 > 20	
ウ、子供が生まれるまで	20 > 15	
エ、わからない	29 > 27	
オ、その他	15 > 8 (%)	



欄外・反省・おわび etc ……

実はもう一つ、就職するにあたって大学は必要かどうか、というアンケートをとったのですが、与えられた答えが問題に合っていない、というおしかりを多数いただきましたので、カットさせていただきます。皆さんすみません！

欄外コーナーに、就きたい職業を選んだ理由を書いてもらおうようにしました。

公務員を選んだ人は、何といっても、「安定性」が第一の理由でした。女性も、一生好きなだけ働けるというのに魅力を感じるようです。「楽だから」という答えもありました。果して、そんなことで良いのだろうか、と疑問を感じてしまいました。教師にあげられて感じている人もいました。会社員を選んだ人の中には、公務員も会社員である(?)という理由で○をつけた人も大分いましたが、「適性、興味があるから」というのが主な理由でした。自由業・自営業を選んだ人の理由は、「ワクにはまらず、自由に仕事をしたいから」、「父親がそうだから」、「夢」、「有名になりたい」などでした。

このアンケートで、他にもたくさんの方の意見をいただきました。「今を生きるだけで精一杯」という人。「世の中は金だ」という人。「今度は「力」まで作って下さい」という人。「体力の限界まで働きたい」という女性。「家が建つまで共働き」という男性、「一度いいからテレビに映りたい」という人。「手があかぎれになるような仕事はまかせてね」という女性。「希望の職業にはつけないとは思っていない」という意見。「自分の好きなもので、生きがい」



なる仕事が理想。」という人。「もう決まったよ」と報告してくれ  
た三年生。そして「こんなのつまらない」という、たくさんの意見。  
とくと読ませていただきました。「希望を持ち続けることは、いい  
ことだよ。」という意見。私も賛成です。  
故人いわく、命ある限り希望がある。

While there is life there is hope //



## エピソード

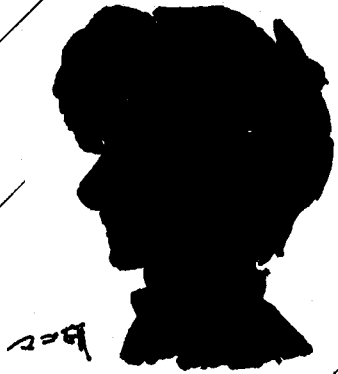
いよいよ『特集』も、無事終章に辿りついたわけであるが、これ  
までを回顧してみると、様々な苦難が思い起こされる。窓辺に一人  
もたれつつ案を練り、海辺で一人佇み涙を流す、砂漠を彷徨い宇宙  
を流浪し、ふと気がつくとは私は淋しさに包まれていた。あまりにも  
痛々しい苦難だったのである。わっはははははと高らかに笑って  
はみたものの誰もが非難の目で私を見るので、本題に移るとしよう。  
まず全体的に見て、将来の目標を持っている人があまりにも少な  
いという事だ。言わば『夢』が無いのである。大方、大学へ行って  
それから考えようという人がほとんどだろう。確かに現実的に、今  
は『学歴社会』である。だから大学へ行くというのも尤もだろう。

私は決してそれに反対ではない。『学歴社会』というのが現状であ  
る以上ひとまず大学へ行くという考えを持つのは無理ない事だろう。  
偉そうに今これを書いている私でさえそういう考えを持っているの  
である。しかし、プラス『将来の目標』或いは『夢』を持っている  
方がよい、いや持つべきだろう。将来の目標を持った上で、大学な  
り、そのための努力をすべきである。それが、単なる夢に終わるか  
現実になるかは心配しなくてよい。その点は若さがカバーしてくれ  
るだろう。わっはははは。『虎穴に入らずんば虎児を得ず』

以上、私の言いたい事はそれだけである。ただ漠然と大学へ行く  
というのではなく、将来の目標、就きたい職業をはっきりさせた上  
で大学へ行く、或いは大学でなくとも兎角それなりに努力するべき  
である。……何だか私は随分長く人生を歩んできたようだが、何を  
隠そう私も今、読者諸君と同じ学生なのである。わっははははは。  
こんな事を書いている私も、そして読者諸君も、いつか必ず『自分  
で稼がねばならない時』は必ず来るのである。何度もしつこいよう  
だが、来たるべき時は必ず来るのである。最後に私の好きな言葉を  
書いておくことにしよう。

『千里の道も一歩から』

うーん、ジーン、感動的な言葉である。ところで僕の文を読んで、  
真面目なところとふざけたところの差の激しさが魅力、と言ったの  
は、何を隠そう加藤洋子、その人である。だいぶ、スペースも無く  
なってきたので、この辺で筆を置くことにしよう。以上、担当は、  
星茂行、森優介でした。尚、委員長として悪戦苦闘していた大滝千  
香子、そして佐藤由美子、松谷洋恵に皆様の暖かい拍手をお贈り下  
さいませ。





# 編集委員

- |       |        |       |  |
|-------|--------|-------|--|
| 委員長   | 大滝 千香子 |       |  |
| 副委員長  | 鈴木 誠   |       |  |
| 海野 里美 | 高橋 幸夫  | 遠藤 万里 |  |
| 佐藤由美子 | 山本 尚   | 工淵 守  |  |
| 峯 和義  | 小沢 里美  | 小林 信弥 |  |
| 梅沢 博  | 松谷 洋恵  | 小野 大介 |  |
| 小沢菜穂子 | 星 茂行   | 西谷 典雄 |  |
| 吉田 英博 | 奥村 健一  | 滝沢 直樹 |  |
| 森 優介  | 中村 はるみ | 中山由美子 |  |

顧問 荒井悦郎

その他、協力してくれた人たち。ありがとう!!

しらかばと第5号【非売品】  
 昭和58年3月5日印刷  
 昭和58年3月10日発行  
 <編集者> 生徒会誌編集委員会  
 埼玉県立越谷北高等学校生徒会  
 埼玉県越谷市大泊500-1  
 TEL (0489) 74-0793  
 <印刷所> 前田印刷株式会社  
 埼玉県岩槻市東町2丁目4番1号  
 TEL (0487) 58-0011(代)

# 編集後記

今年も何とか生徒会誌を発行することができました。一月に入ってから大変な忙しさで編集を進めてきましたが、編集がこんなにも大変なものだとは思いませんでした。計画通りに進まずに、あせり今年発行が間に合うのかしらと不安を感じたりもしました。仕事に取りかかるのが遅れて、委員の皆さんにも御迷惑をおかけしました。しかし、皆さんの協力のおかげで、しらかばと第5号は、ついに完成したのです。この安心感！

この会誌が、一人でも多くの方に読んでもらえれば幸いです。また、原稿をお寄せ下さった方々、御指導していただきました荒井先生、その他この会誌の完成に至るまで、私達にアドバイスをしてくださった方々に、この紙面を借りてお礼を申し上げます。皆さん、ありがとうございました。

委員長記

おっすっ  
 をっ  
 をっ

- 。 終わってうれしい。来年の人はもっと早く計画実行した方が身のためだぞ (N班・N)
- 。 疲れた〜。ねむい〜。力作です。 (☆・ホシ)
- 。 今まで何げなく読んでいたが、会誌編集の仕事がこれ程大変だとは思わなかった。金はもらえんのかー。 (オバQ)
- 。 早く家に帰りたい。 (庄和のシティボーイ)
- 。 耳たぶ。エイ、食いたい〜。 (天声人語)
- 。 腹へった。荒井先生、おこれー。
- 。 Keep your smile.
- 。 やったー！これでんびりできるゾ。編集の仕事には、何があってもつきたくないです！！ (電車のない子)
- 。 ぼく生徒会役員なんですけど……。 (まことちゃん)



